

多賀城市教育委員会  
点検・評価報告書

(令和3年度事業)

令和4年12月

多賀城市教育委員会

## 目 次

### I 多賀城市教育委員会の点検・評価

|                   |   |
|-------------------|---|
| 1 教育委員会の点検・評価     | 1 |
| 2 令和3年度の点検・評価実施内容 | 1 |

### II 令和3年度の点検・評価

|                      |    |
|----------------------|----|
| 1 教育委員会              | 3  |
| (1) 多賀城市教育委員会委員      | 3  |
| (2) 教育委員会の開催状況       | 3  |
| (3) 教育委員会の審議状況       | 4  |
| (4) 研修会等出席状況         | 7  |
| 2 学識経験者の意見活用         | 8  |
| 3 多賀城市まちづくり報告書の点検・評価 | 12 |
| (1) 評価結果の概要          | 12 |
| (2) 多賀城市まちづくり報告書の構成  | 13 |
| (3) 多賀城市まちづくり報告書とは   | 14 |
| (4) 施策・基本事業評価の見方     | 15 |
| (5) 施策・基本事業の動向       | 17 |
| 4 事務事業の点検・評価         | 32 |
| (1) 評価結果の概要          | 32 |
| (2) 令和3年度主要な施策一覧     | 33 |
| (3) 事務事業評価表とは        | 34 |
| (4) 「事務事業評価」と評価表の見方  | 34 |
| (5) 点検評価表（事務事業評価表）   | 36 |

### III 学識経験者の意見

|              |        |    |
|--------------|--------|----|
| 元多賀城市立山王小学校長 | 當麻 哲 氏 | 59 |
| 元多賀城市立高崎中学校長 | 横橋 健 氏 | 63 |

### IV 資料

|                        |    |
|------------------------|----|
| 多賀城市教育基本方針・令和3年度教育重点目標 | 67 |
|------------------------|----|

# I 多賀城市教育委員会の 点検・評価



## I 多賀城市教育委員会の点検・評価

### 1 教育委員会の点検・評価

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が平成19年6月に一部改正され、平成20年度から教育委員会が教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することが義務付けられました。

このことから、前年度実施した事業のうち、主要な事業について点検・評価を実施し、教育行政に関する学識経験者の意見を付した報告書を取りまとめました。

なお、点検・評価は「第六次多賀城市総合計画」及び「多賀城市教育振興基本計画」の体系に沿って、実施しています。

#### ■地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）■

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

（平成27年4月1日施行）

## 2 令和3年度の点検・評価実施内容

### (1) 教育委員会

令和3年度の開催状況及び審議状況並びに研修会等出席状況についてとりまとめ、点検・評価として実施しました。

### (2) 学識経験者の意見活用

令和3年度に実施した点検・評価においては、学識経験者2名の方から意見をいただきました。この意見を受け、令和3年3月時点における各事務事業の検証を実施し、業務改善に活用しました。

### (3) 多賀城市まちづくり報告書の点検・評価

教育分野の施策及び基本事業における成果指標の推移を踏まえた成果状況等について、点検・評価を実施しました。

### (4) 事務事業の点検・評価

令和3年度に実施した事業のうち、主要事業21事業について点検・評価を実施しました。



## Ⅱ 令和3年度の点検・評価





## II 令和3年度の点検・評価

### 1 教育委員会

#### (1) 多賀城市教育委員会

教育委員会は、教育長及び4名の教育委員による合議制の執行機関です。

(令和3年度末現在)

| 職名       | 氏名     | 備考           |
|----------|--------|--------------|
| 教育長      | 麻生川 敦  | 令和元年10月1日新任  |
| 教育長職務代理者 | 菊池 すみ子 | 平成30年10月1日再任 |
| 教育委員     | 樋渡 奈奈子 | 令和元年10月1日再任  |
|          | 林 幹 字  | 令和3年1月1日新任   |
|          | 小野 聡子  | 令和3年10月1日新任  |

#### (2) 教育委員会の開催状況

令和3年度は、定例会及び臨時会を計16回開催しました。

|    | 会議名         | 開催年月日      | 審議等件数 |
|----|-------------|------------|-------|
| 1  | 令和3年第4回定例会  | 令和3年4月28日  | 5件    |
| 2  | 令和3年第5回定例会  | 令和3年5月26日  | 2件    |
| 3  | 令和3年第6回定例会  | 令和3年6月23日  | 2件    |
| 4  | 令和3年第3回臨時会  | 令和3年7月9日   | 1件    |
| 5  | 令和3年第4回臨時会  | 令和3年7月12日  | 1件    |
| 6  | 令和3年第7回定例会  | 令和3年7月28日  | 2件    |
| 7  | 令和3年第8回定例会  | 令和3年8月25日  | 1件    |
| 8  | 令和3年第9回定例会  | 令和3年9月29日  | 2件    |
| 9  | 令和3年第5回臨時会  | 令和3年10月1日  | 1件    |
| 10 | 令和3年第10回定例会 | 令和3年10月25日 | 2件    |
| 11 | 令和3年第11回定例会 | 令和3年11月24日 | 0件    |
| 12 | 令和3年第12回定例会 | 令和3年12月22日 | 4件    |
| 13 | 令和4年第1回定例会  | 令和4年1月31日  | 2件    |
| 14 | 令和4年第1回臨時会  | 令和4年2月10日  | 1件    |
| 15 | 令和4年第2回定例会  | 令和4年2月24日  | 4件    |
| 16 | 令和4年第3回定例会  | 令和3年3月14日  | 5件    |

(3) 教育委員会の審議状況

令和3年度は、議案19件、臨時代理事務報告14件、報告2件、計35件を審議しました。

| 会議名            | 審議内容   |
|----------------|--|
| 令和3年<br>第4回定例会 | ・臨時代理事務報告第5号<br>臨時代理の報告について（多賀城市いじめ問題専門委員会委員の人事）           |
|                | ・臨時代理事務報告第6号<br>臨時代理の報告について（多賀城市学校給食センター運営審議会委員の人事）        |
|                | ・臨時代理事務報告第7号<br>臨時代理の報告について（多賀城市社会教育委員の人事）                 |
|                | ・臨時代理事務報告第8号<br>臨時代理の報告について（多賀城市いじめ問題専門委員会委員の人事）           |
|                | ・臨時代理事務報告第9号<br>臨時代理の報告について（多賀城市学校給食センター運営審議会委員の人事）        |
| 令和3年<br>第5回定例会 | ・議案第12号<br>多賀城市社会教育委員の人事について                               |
|                | ・議案第13号<br>多賀城市スポーツ推進審議会の人事について                            |
| 令和3年<br>第6回定例会 | ・臨時代理事務報告第10号<br>臨時代理の報告について（令和3年度多賀城市一般会計補正予算（第3号）に対する意見） |
|                | ・議案第14号<br>多賀城市学校給食センター運営審議会の人事について                        |
| 令和3年<br>第3回臨時会 | ・議案第15号<br>令和4年度多賀城市立小・中学校使用教科用図書の採択基準について                 |
| 令和3年<br>第4回臨時会 | ・議案第16号<br>令和4年度使用教科用図書の採択について                             |

|                 |   |
|-----------------|---|
| 令和3年<br>第7回定例会  | <ul style="list-style-type: none"> <li>議案第17号<br/>令和4年度使用教科用図書の採択について</li> </ul>                                      |
|                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>報告<br/>令和3年度学校給食の現状について</li> </ul>   |
| 令和3年<br>第8回定例会  | <ul style="list-style-type: none"> <li>議案第18号<br/>休業日の指定について</li> </ul>   |
| 令和3年<br>第9回定例会  | <ul style="list-style-type: none"> <li>臨時代理事務報告第11号<br/>臨時代理の報告について（令和2年度多賀城市歳入歳出決算に対する意見）</li> </ul>                 |
|                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>臨時代理事務報告第12号<br/>臨時代理の報告について（令和3年度多賀城市一般会計補正予算（第6号）に対する意見）</li> </ul>          |
| 令和3年<br>第5回臨時会  | <ul style="list-style-type: none"> <li>報告第2号<br/>教育長職務代理者の指名について</li> </ul>   |
| 令和3年<br>第10回定例会 | <ul style="list-style-type: none"> <li>議案第19号<br/>多賀城市教育委員会が行う行政手続における押印等及び性別記載の見直しに伴う関係規則の整理に関する規則の制定について</li> </ul> |
|                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>議案第20号<br/>成年年齢引き下げに伴う成人式の対象年齢について</li> </ul>                                  |
| 令和3年<br>第11回定例会 | （「諸般の報告」のみ）   |
| 令和3年<br>第12回定例会 | <ul style="list-style-type: none"> <li>臨時代理事務報告第13号<br/>臨時代理の報告について（議会の議決を経るべき事件の議案の作成に係る意見）</li> </ul>               |
|                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>臨時代理事務報告第14号<br/>臨時代理の報告について（令和3年度多賀城市一般会計補正予算（第9号）に対する意見）</li> </ul>          |
|                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>議案第21号<br/>令和2年度多賀城市教育委員会点検及び評価の結果に関する報告書について</li> </ul>                       |
|                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>議案第22号<br/>令和3年度多賀城市教育功績者等表彰について</li> </ul>                                    |

|                |   |
|----------------|---|
| 令和4年<br>第1回定例会 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・議案第1号<br/>令和4年度多賀城市教育基本方針及び教育重点目標について</li> </ul>  |
|                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・議案第2号<br/>特別史跡多賀城跡附寺跡第3次保存管理計画の計画期間の延伸について</li> </ul>                                   |
| 令和4年<br>第1回臨時会 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・議案第3号<br/>県費負担教職員の任免等の内申について</li> </ul>   |
| 令和4年<br>第2回定例会 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・臨時代理事務報告第1号<br/>臨時代理の報告について（議会の議決を経るべき事件の議案の作成に係る意見（工事請負変更契約の締結））</li> </ul>            |
|                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・臨時代理事務報告第2号<br/>臨時代理の報告について（令和3年度多賀城市一般会計補正予算（第11号）に対する意見）</li> </ul>                   |
|                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・臨時代理事務報告第3号<br/>臨時代理の報告について（令和4年度多賀城市一般会計予算に対する意見）</li> </ul>                           |
|                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・議案第4号<br/>令和3年度多賀城市教育功績者等表彰（追加）について</li> </ul>  |
| 令和4年<br>第3回定例会 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・議案第5号<br/>多賀城市教育委員会組織規則の一部を改正する規則について</li> </ul>  |
|                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・議案第6号<br/>多賀城市教育財産管理規則及び多賀城市教育委員会における多賀城市の私債権の保全及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則について</li> </ul> |
|                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・議案第7号<br/>多賀城市立学校施設の開放に関する規則の一部を改正する規則について</li> </ul>                                   |
|                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・議案第8号<br/>職員の人事について</li> </ul>  |
|                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・議案第9号<br/>県費負担教職員の任免等の内申について</li> </ul>   |

(4) 研修会等出席状況

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大のため各研修会等が中止となり、1回の研修会等に出席しました。

| 月 日          | 研 修 会 等 名 称                | 開催地 |
|--------------|----------------------------|-----|
| 令和3年<br>7月7日 | 宮城県教育委員会・市町村教育委員会教育懇話会全体会議 | 仙台市 |

## 2 学識経験者の意見活用

令和3年度に報告した「点検・評価報告書」において、令和2年度に実施した事業に対し学識経験者2名の方からいただいた意見を受け、本市教育委員会は各事務事業を検証し、業務改善に活用しました。

※令和3年度に報告した「点検・評価報告書（令和2年度事業）」における学識経験者

元塩竈市立第一小学校長 星 篤 氏

元多賀城市立高崎中学校長 横橋 健 氏

政策3 歴史・文化を継承し豊かな心を育むまち

施策1 学校・家庭・地域の連携による教育力の向上

| 学識経験者の意見  | 検証（現状、今後の方針）   |
|---|--|
| <p>すべての中学校区に設置された学校支援地域本部は、学校と家庭、地域を繋ぐ大きな役割を担うものである。今後、事業の質を高めていくためには、運営を担うコーディネーターの存在が大きいと思われる。そのためには担い手の継続的な育成や将来のコミュニティ・スクールへの移行を念頭に置いた着実な取組が必要であると考えられる。</p> <p>「放課後子ども教室」は子どもの放課後等の安全・安心な居場所づくりとして、継続的に運営されてきたが、運営に携わるボランティアの確保等課題になっている。特に新型コロナウイルス感染拡大の影響により、「放課後子ども教室」や児童館、学校と地域とが連携した事業等の活動を中止・縮小せざるを得ない状況であったが、可能な範囲で実施できたことは評価できる。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染拡大によって、子どもたちが家庭で過ごす時間が増加するなか、保護者による教育の比重が大きくなっている。家庭の多様性に対応した支援の内容や方法を探りながら、学校・地域が家庭を支援して行かなければならないと考える。</p> | <p>令和4年度より、中学校区に設置された学校支援地域本部による連携体制を基盤として、より多くの地域住民等の参画による学校・家庭・地域の連携・協働体制を構築するため、「地域学校協働本部」を設置しました。</p> <p>これにより、子どもの放課後の安全・安心な居場所づくりを担う「放課後子ども教室」や学校の要望に応じ地域ボランティアが支援する「学校支援活動」などの地域学校協働活動を更に推進し、児童・生徒の健やかな育ちを支援します。</p> <p>令和4年度は、地域学校協働活動推進員、放課後子ども教室コーディネーター、小中学校教職員等が参加し、地域学校協働活動とコミュニティ・スクールとの関係性についての情報交換や、外部講師を招き、ワークショップを主とした研修会を行いました。</p> <p>家庭教育支援については、これまで、家庭教育の重要性に関する認識を深めることを目的として、入学説明会等、保護者が集まる機会を活用し講座や研修会を開催していましたが、多くの人が集まるのが困難な状況が続いており、中止を余儀なくされています。現在は星空観察教室をはじめとする親子体験型の講座を、人数制限を設けるなどの工夫をして行っています。</p> <p>「協働」観点から、地域の方々の支援をいただける事業内容や手法について引き続き検討し、実施してまいります。</p> |
| <p>令和2年度は全体的に新型コロナウイルス感染症の影響が非常に大きかった。しかしながら、全体的な学校・家庭・地域の連携は十分に果たされていたと思う。諸事業が縮小、中止になったにもかかわらず、それ以外の家庭での取り組みや保護者の思いは果たされていたように思う。</p> <p>しかしながら、学校が休校になり、家庭で多くの時間を過ごさなければならなかったり、外遊びがなかなか出来なくなったりした児童生徒に対して、行政から何らかの支援事業を展開出来なかったのか、という思いは残る。</p> <p>新型コロナウイルス感染が拡大している非常時では、学校・家庭・地域の連携は、平時におけるそれとは違うものを求められるのではないだろうか。</p> <p>ともあれ、多賀城市での学校・地域が連携した子どもたちの育成については、地域・保護者・学校にその意識が高まり、成果は十分に達成されていると思われる。</p>  |  |

施策2 学校教育の充実

| 学識経験者の意見   | 検証（現状、今後の方針）  |
|--|---|
| <p>令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大という未曾有の事態に見舞われ、学校教育の分野においても多くの行事が中止や縮小せざるを得ない状況に陥った。</p> <p>小中学校では感染防止対策を講じながら、新学習指導要領が示す「主体的対話的な深い学び」の視点に基づき、授業づくり研修会や全教職員研修会を継続して実施した。教育の質の向上という点から、今後とも継続して実施していくことが望まれる。また、国の「GIGAスクール構想」により整備が進んでいる一人一台のタブレット端末を有効活用できるよう、環境整備や教職員研修を充実させる必要がある。</p> <p>さらに、子どもたちが夢や希望を持ち充実した学校生活を送ることができるよう、これまで以上に幼児教育から小学校教育へ、そして中学校教育への円滑な移行を図るとともに、異校種間の連携に努めたい。</p> | <p>令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を勘案しながら積極的に学校行事を実施し、児童生徒の成長に資する教育活動に取り組みました。</p> <p>「主体的対話的な深い学び」においては、児童生徒が、自身の興味関心について主体的に学ぶこと、他者との対話のなかで自身の考えを広げ深める学びをすること、得た知識を関連付けたり精査することで問題に対する解決策を見い出したり、新たなものを想像することが求められています。</p> <p>対話的な学びについては、対面での教育活動に制限が課されている状況ですが、アフターコロナに向けて児童生徒が質の高い学びを得られるよう、総合的な学習の時間の充実（キャリアセミナーや職場体験の実施やICT機器を活用した調べ学習等）とともに、多様な教員研修の継続的な実施により教育の質の向上を図っています。</p> <p>令和4年度から、県の学力向上マネジメント推進事業を活用し、多賀城市の「安心して学べる居場所感」「没頭して夢中になれる学習」という教育方針のもと、学力向上の取組を行っています。</p> <p>具体的には、県から学力向上マネジメントアドバイザーの派遣を受け、学校が児童生徒の学力向上に向けた現状把握、対策の検討及び改善に取り組むとともに、学校同士が互いの取組や成果を情報共有し、小中連携や小中連携等の検討を進めております。</p> <p>タブレット端末の活用については、市独自の取組として、教員からタブレット端末活用研修員を募集し、活用推進に取り組んでまいりました。令和4年度からICT機器を用いた学習のなかで、児童生徒が夢中になれる学びを行うことができるよう、ICT支援員を派遣して教員支援を行うなど、環境整備等に努めています。</p> <p>また、幼児教育と小学校教育については、福祉関係の部署と連携した保幼小連携事業として、保育所・幼稚園及び小学校の教員が合同で参加する研修会を実施し、円滑に小学校入学が進められるよう、取り組んでおります。以上、これらの取組を引き続き継続し、学校教育の充実に努めてまいります。</p> |

|   |   |
|---|---|
| <p>学校生活が楽しいという児童生徒の割合が増加傾向にあり、75.8%もいるのは大変素晴らしいことだと思う。仲の良い友達がいるから、学校生活が楽しいと判断させる根拠が弱いと思う。学校生活の中で授業が占める時間的な割合はおおよそ3分の2といわれている。その授業が楽しいと感じる生徒が増えていることこそ、学校生活の充実につながっていることと考えられる。教育委員会の指導の下、各学校の校長先生を初め先生方の努力に敬意を表したい。</p> <p>一方で不登校の生徒の増加が大きな課題になっている。不登校の原因は様々指摘されているが、不登校傾向が見られた児童生徒と保護者への早期の支援を充実させ、教員への不登校傾向が見られた場合の対応等の研修を支援するような施策に期待したい。</p> | <p>不登校をはじめとする学校不適応への対応に当たっては、日々の児童生徒の変化を見逃さず、組織的なアセスメントを経て、早期に適切な支援につなぐことが必要です。</p> <p>価値観や社会制度の多様化により、児童生徒・保護者・家庭が抱える課題は複雑化していますが、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーといった心理・福祉の専門家を学校現場に配置、派遣することで、不登校児童生徒の早期発見や保護者・教員等への相談支援を行っています。</p> <p>また、児童生徒の多様な課題に対応する一つとして、県の不登校等児童生徒学び支援教室充実事業により、教室に入ることができない児童生徒への支援に取り組むとともに、担当教員等で事例検討を含めた研修会を実施し、教員の資質向上に努めております。</p> <p>さらに、教員の働き方改革を推進することで、教員が児童生徒の変化に気付くことができる環境の整備に努めるとともに、生徒指導担当教員が情報共有できるネットワークの構築やその機会の提供、研修の充実を行ってまいります。</p> |
|---|---|

### 施策3 生涯学習の推進向上

| 学識経験者の意見   | 検証（現状、今後の方針）  |
|--|---|
| <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、様々な事業や活動が中止となり、十分に活動できず参加人数が減少した。このことは、公民館や市立図書館を始めとする社会教育施設に新たな課題を提起した。新しい生活様式や社会の在り方を考える中で、ウィズコロナ・アフターコロナ社会を生き抜くために必要な学習機会をどのように設定すべきか。対面での学び合いを通して、人間関係作りを重視してきた生涯学習施設でのこれまでの学習方法をどのようにオンラインを取り入れ、効果的に進めていけばよいのか検討していただきたい。</p> <p>また、施設の老朽化対策も課題である。多賀城市公共施設等総合管理計画に基づき、計画的に改修願いたい。</p>  | <p>令和3年度は、公民館など公共機関で開催する事業への参加者について、特に高齢者世代を中心に減少傾向にありましたが、インターネットを含む多様な学習環境の整備が進み、自宅等での学習機会が増えていることから、生涯学習を行っている・学習機会に満足している市民割合は大きな低下とはなりません。</p> <p>令和4年度は、市民会館・地区公民館の公衆無線LAN (Wi-fi)の環境整備を進めることとしています。これにより、遠隔地と施設をつなぐことや、動画などの配信を活用した講座・学習会の実施など、オンラインを活用した事業や活動等に取り組みやすくなります。新たな取組みを工夫しながら、時代の変化とニーズに合わせた社会教育の推進について引き続き検討し、実施してまいります。</p> <p>令和4年度は、文化センターの大規模改修を行っています。他の施設においても、計画的に改修を進めてまいります。</p> |
| <p>やはり新型コロナウイルス感染拡大の影響が大きかったと思われる。文化センターの利用者数、事業への参加者数は大きく減っている。しかしながら新型コロナウイルスの感染が拡大する以前は増加傾向であったことを踏まえると、今後の伸びが期待できる。コロナによって外出や人との交流が制限されてきたことを踏まえると、サークル活動や文化的事業への参加者増が期待できるであろう。より魅力的な事業や中断しているサークル活動への再開への支援が求められると思う。</p> <p>市民図書館の利用については、新型コロナウイルス感染拡大による休館があったもののそれほど利用者の減少にはつながっていないようである。休館期間を除き、1ヶ月あたりの利用者数を見てみると、昨年度より増えていることが分かる。今後も魅力的な図書館づくりを進めて欲しい。</p> | <p>令和3年度は、文化芸術鑑賞・活動をしている市民割合は、高齢者世代で減少傾向にあり、地域での行事等が減少したことが要因と考えられます。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大の影響で事業の中止等が相次いでいましたが令和2年度までと比較し、令和3年度以降は、対面で開催する事業や貸館の利用状況は増加傾向にあります。今後は、地域で活動する団体・サークル等に対し、感染症対策や活動の場の提供など、活動の再開や活性化に向けた支援を行ってまいります。</p> <p>市立図書館におきましては、令和3年度は令和2年度と比較し、利用者数・貸出数等は増加しております。おはなし会や講座・講演等の事業数も増加しており、今後も魅力的な図書館運営を進めてまいります。</p>   |

### 施策4 市民スポーツ社会の推進の向上

| 学識経験者の意見  | 検証（現状、今後の方針）  |
|---|---|
| <p>子どもから高齢者に至るまで誰もが日常的にスポーツに親しむことができる環境の提供は、精神的な充足感や楽しさ、喜び、心身の健全な発達を促すことになる。しかし、社会体育施設等におけるスポーツ教室や各種大会が、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となり、例年に比べると参加者が大きく減少した。感染対策を十分に行うとともに、開催方法を工夫し、施設の利用促進を図ってほしい。</p> <p>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の延期により、市民のオリンピック・パラリンピックに対する関心は余り高まらなかったが、準備段階で得たことを、スポーツの楽しさや障がいを持つ人々への理解へと繋げていきたい。</p> | <p>令和3年度は、新型コロナウイルス感染前と比較すると参加者は減少しておりますが、前年度と比較すると増加に転じています。引き続き、地域の感染状況等を鑑みながら、感染対策を行い、施設の利用促進を図ってまいります。</p> <p>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会では、仙台市とともにキューバ共和国（野球・バレー）の事前キャンプ受入を予定しておりましたが、同国が本大会への出場権をかけた予選会で敗退したことから、選手との交流を行うことはできませんでした。しかし、聖火リレー（JR多賀城駅北口広場から宮城県東北歴史博物館まで）を行ったことにより、市民のオリンピック・パラリンピックへの気運が高まり、スポーツの楽しさや感動、障がいを持つ方々への理解に繋がっていったのではと考えています。</p> |



|   |   |
|---|---|
| <p>市民スポーツに関して、ハード面ではしっかりとした施設管理と運営がなされていることは喜ばしいことである。ソフト面では新型コロナウイルス感染防止の観点から事業を縮小したり、中止せざるを得なかったり、実績が大きく下がった。しかし、コロナ前のここ数年の傾向を見ると、スポーツ団体への登録者や施設利用者の減少傾向が続いている。コロナによる規制が緩和された後もこの傾向が続いていくことも考えられる。</p> <p>住民のスポーツの関心を高めるような魅力的な事業を行っている先進的な他県、他市町村等での取り組みを参考にして新しい事業を立ち上げることを期待したい。</p> | <p>令和3年度には、新たな試みとして、政庁跡周辺約4kmのコースを歩きながら、地元菓子店が提供するスイーツを楽しんでいただく「多賀城スイーツウォーキング」を開催しました。</p> <p>また、多賀城市・明治安田生命保険相互会社との包括連携協定のもと、元プロサッカー選手と宮城教育大学を講師にむかえ、サッカーの技術と防災の知識を学ぶ「防災サッカー教室」を開催しました。</p> <p>今後も様々な分野と連携を図り、スポーツへの関心を高めてまいります。</p> |
|---|---|

**施策5 文化財の保護と活用**

| 学識経験者の意見  | 検証（現状、今後の方針）   |
|---|--|
| <p>特別史跡多賀城跡附寺跡の保存・管理については、保存管理計画に従い公有化が適切に進められている。埋蔵文化財の発掘調査や収蔵資料等の適正な保管についても計画に従い適切に進められている。</p> <p>復元整備事業は平成30年度から工事に着手し、令和6年の多賀城創建1300年の一般公開に向けて工事が進められている。復元される南門を含めた特別史跡周辺一帯を多賀城跡として整備することを期待している。</p> <p>そして、こうした遺跡や施設を訪れる人々の歴史や文化への理解や体験が促され、生涯学習や観光等の活動につながる地域資源として一層活かされていくことを期待する。多賀城の魅力をたくさん発信していくことで、交流人口の更なる増加を期待したい。</p> <p>多賀城跡の復元整備事業が順調に進んでいることは、喜ばしいことである。コロナ禍にもかかわらず、文化財の普及啓発に関して順調に成果を上げていることは、大変素晴らしいことと思う。</p> <p>これからも市の文化財を次世代に継承していくことの大切さを市民に理解していただくような取り組み、長い歴史ある多賀城市への愛着を持つような取り組みを今後も期待したい。</p> | <p>特別史跡多賀城跡附寺跡の保存・管理については、特別史跡多賀城跡附寺跡第3次保存管理計画に従い公有化を進めており、公有地にあつては年間を通じた除草や定期的な見回り等により適正な維持管理に努めています。</p> <p>埋蔵文化財の発掘については、遺跡に影響を及ぼす工事及び恒久的な工作物の建築工事の際は、適切に発掘調査を実施し、記録の保存に努めています。</p> <p>また、収蔵資料については、出土資料を含め適切に整理保管しています。</p> <p>特別史跡多賀城跡復元整備事業については、多賀城創建1300年を迎える令和6年に向けて、築地塀復元・地形修復工事にも着手してまいります。</p> <p>古代多賀城が政治・軍事のみならず、文化的にも東北地方の中心であったこと視覚的に表現し、貴重な文化財を次世代に継承していくとともに、文化交流拠点として市内外の多くの方々が多賀城を訪れるよう、復元した南門を核に、様々な場面で広くPRしてまいります。</p> |

**総括的意見**

| 学識経験者の意見   | 検証（現状、今後の方針）  |
|--|---|
| <p>令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大という未曾有の事態により、学校教育の分野においても、生涯学習の分野においても、多くの行事や事業が中止や縮小に追い込まれた。前例のない状況で判断が求められる中、それぞれの立場で最も良いと思われる行事や事業の推進をしていただいたことに感謝するとともに敬意を表したい。</p> <p>最後に、多賀城市総合計画の各基本事業で設定されている複数の指標の中には、事業を量的・質的に評価するにあたり、限定的なデータとなってしまう可能性が感じられるものがある。実態や全体像をしっかりと評価できる指標に基づいた評価が望まれる。各項目について、精査、検討いただければと考える。</p> <p>今年は新型コロナウイルスの蔓延に伴い様々な事業が中止または縮小せざるを得ない状況であった。しかしながら、そのような状況でも市民の生活は続いていただけ、行政の支援も一方ではコロナ対策が第一であったと思うが、一方で日常的に行わなければならない事業にはしっかりと取り組んでいたことは評価に値する。</p> <p>新型コロナウイルス感染防止のためにいわゆる巣ごもり状態になり、運動不足になっているとも言われている。コロナによる影響を検証し、今後のウイズコロナの時代に即した新たな取り組みを期待したい。</p> | <p>令和2年度は学校、各種施設の一斉休業を経て、「学びを止めない」という観点から、工夫しながら各種事業に取り組んできました。学校においては、令和3年度以降、密を避けるため始業式、修了式のオンライン配信や、タブレット端末の家庭への持ち帰り学習を開始など、学校ICTの活用を進めてきました。</p> <p>また、生涯学習においては、講座内容、募集人数の見直しや、オンライン講座の実施等により制約がある中でも様々な事業に取り組んできました。今後も状況の変化に対応し、事業推進に努めてまいります。</p> <p>各種指標につきましては、計画期間を令和3年度から令和12年度とする第六次多賀城市総合計画の策定に際し、基本事業体系並びに施策等の目指す姿及び成果指標の再調整・再検討を行いました。アンケート項目についても、目指す姿や関連する事務事業の成果が表せるものとなっているか設問内容の検討、再確認を行いました。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、「新しい生活様式」を実践し、中長期に渡り感染症対策と向き合う中で、運動不足から身体的及び精神的な健康を脅かす健康二次被害も懸念されています。意識的に運動・スポーツに取り組むことは、健康の保持、増進だけでなく、ストレス解消、自己免疫力を高めてウイルス性感染症を予防することにも役立ちます。感染症対策を十分に講じながら、引き続き、生涯学習に繋がる取組として企画運営してまいります。</p> |

### 3 多賀城市まちづくり報告書の点検・評価

教育委員会における施策及び基本事業の「目標達成度」について、点検・評価を行いました。

#### (1) 評価結果の概要

| 施策        | 件数        | 基本事業      | 件数         |
|-----------|-----------|-----------|------------|
| 達成        | 1件        | 達成        | 4件         |
| 高         | 0件        | 高         | 1件         |
| 中         | 5件        | 中         | 16件        |
| 低         | 0件        | 低         | 0件         |
| <b>合計</b> | <b>6件</b> | <b>合計</b> | <b>21件</b> |

※1 目標値を設定していない下記2件の基本事業は、除いています。

施策02－基本事業02「再登校率」

施策05－基本事業01「適正に調査・保護された文化財の件数」

## (2) 多賀城市まちづくり報告書の構成

### IV 多賀城市まちづくり報告書(第六次多賀城市総合計画進捗状況報告)

#### 1 多賀城市まちづくり報告書(第六次多賀城市総合計画進捗状況報告)とは

- (1) 施策別評価の概要
  
- 2 全体の動向
  - (1) 将来都市像指標の動き
  - (2) 指標全体のうごき(施策・基本事業別)
  - (3) 政策別の指標全体のうごき(施策・基本事業合計)
  - (4) 指標全体の目標達成度(施策・基本事業別)
  - (5) 政策別の指標全体の目標達成度(施策・基本事業合計)

#### 3 施策・基本事業の動向(成果指標等一覧)

##### (1) 施策・基本事業評価の見方

- 政策1 みんなの力で減災 安全で安心に暮らせるまちづくり(安全安心)
- 政策2 健やかで優しい 支え合いのあるまちづくり(健康福祉)
- 政策3 夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり(教育文化)
- 政策4 都市と自然の環境調和 快適で潤いのあるまちづくり(生活環境)
- 政策5 地域の資源と知恵をいかす 活気あふれるまちづくり(産業活気)
- 政策6 地域の未来を共に創る 絆と誇りを築くまちづくり(地域創生)
- 政策7 縮減社会への対応 持続可能な行財政経営(行財政経営)

## Ⅳ 多賀城市まちづくり報告書(第六次多賀城市総合計画進捗状況報告)

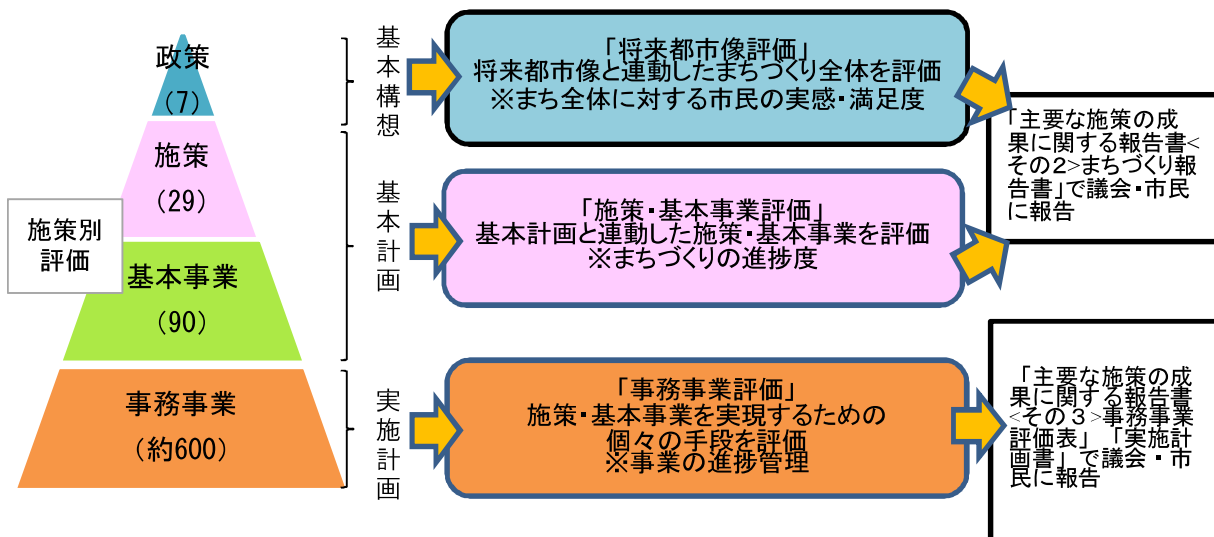
### (3) 多賀城市まちづくり報告書(第六次多賀城市総合計画進捗状況報告)とは

多賀城市まちづくり報告書は、総合計画の目指すまちの姿の実現に向けて、まちづくりがどの程度進んでいるのか、事業の成果は上がっているのかといったことを示すため、令和3年度の決算を踏まえて、まちづくりの成果報告書として作成しています。

施策、基本事業における成果指標の推移を踏まえた成果状況等の結果を「施策別評価」として示すことで、総合計画の進捗状況等を明らかにしています。

また、複数年での指標の推移を確認することにより、指標のうごきが外的要因による突発的なものなのか、社会情勢の変化等による必然的なものなのかを見る目安となり、限られた行財政経営資源の「選択と集中」及び行政活動の「改革と改善」への活用が期待されます。

一般的には、事務事業の成果が向上することで基本事業の成果が向上し、基本事業の成果が向上することで施策の成果が向上する仕組みになっています。



### (1) 施策別評価の概要

#### ① 施策別評価とは

施策別評価は、階層分けした施策及び基本事業について、指標の推移を踏まえた成果状況やその原因分析等の評価結果を施策ごとに示すものであり、これにより総合計画の進捗状況等を明らかにするとともに、その評価結果を次の施策や事業展開に活かしていくこととしています。

施策や基本事業に対して、その目的がどの程度達成されたのかを測るものさしとして「指標」を設定し、成果状況を数値で表すことで、総合計画の進捗状況や事業の成果状況を客観的に把握し、分析していくこととしています。

#### ② 指標のうごきからみるまちづくりの状況

施策・基本事業の指標の動向を前期基準値に対する「指標のうごき」で捉えるとともに、指標の令和7年度前期目標値に対する「目標達成度」を捉えることとし、これらをもとに総合計画の進捗状況を示しています。

#### (4) 施策・基本事業評価の見方

政策 01 みんなの力で減災 安全で安心に暮らせるまちづくり

施策の成果状況は、左側のページとなるよう調整しています。

施策 01 防災・減災対策の推進

施策の目指す姿

大規模災害の経験をいかし、みんなの力で災害に強いまちが形成されることで、安全・安心に暮らすことができています。

##### 【指標の区分】

目指す姿の実現具合を測るものさしとして設定している指標は、その特性により次の3つに区分しています。

成果: 目指す姿の達成度を示すもの

社会: 事業状況を指標化したものの、行政の関与よりも社会経済情勢等の影響が大きいもの

代替: 成果の指標化が難しい場合に、代替指標として行政の活動量等を設定したもの

##### 【取得方法】

市民アンケート: 毎年定期的に市民3,000人を対象に行う多賀城市まちづくりアンケートにより取得する方法

職員アンケート: 毎年定期的に職員を対象に行うアンケートにより取得する方法

業務取得: 業務内で取得する方法

課独自調査: 指標を取得するために各課等が行うアンケート等により取得する方法

##### 【指標特性】

上がると良い: 数値が上がると良い指標

下がると良い: 数値が下がると良い指標

その他: 数値の増減で良し悪しを判断できない指標

##### 【前期基準値】

原則として、次のような取得年度となっています。これ以外の年度に取得している場合には、評価欄に記載しています。  
市民アンケート、職員アンケート指標: 令和2年度に取得  
業務取得、課独自調査指標: 平成31年度に取得

【担当部署】令和4年度担当部署を記載しています。

施策の成果状況と評価

まち(市民、地域、行政)の防災・減災体制に安心感を持つ市民割合

① 成果 市民アンケート 上がると良い 危機管理課

(原因)新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの市内区での防災訓練が中止になりましたが、復興事業の完了と、地域の自主防災組織の充実によって市民の安心感向上につながっていることが要因と考えられます。  
【統計誤差の範囲内です。】

評価

【注釈】指標についての説明を記載しています。

##### 【評価】

「(原因)」は、前期基準値と比較した際の実績値の数値変化(累計については、前期目標値に対する数値(成果)の進捗状況)に対応した原因分析の内容を記載しています。  
また、市民アンケートに係る統計誤差及び前期基準値を原則以外の年度に取得した旨についても、記載しています。

◆は、各年度ごとの実績値です。指標の実績値の推移をグラフで示しています。

▲は、前期基準値及び令和7年度の前期目標値を示しており、目標値が数値の場合には、前期基準値から前期目標値への方向性をラインで示しています。目標値が矢印の場合は、前期基準値のみの表示となっています。

【掲載している施策・基本事業は、掲載例です。実際の内容とは異なります。】

□基本事業の成果状況と評価

基本事業の成果状況は、はじめが右側のページとなるよう調整しています。

施策評価と見方は一緒です。

| 基本事業01 地域防災力の促進(自助・共助) |   |    |         |        |       |           |           |           |        |         |
|------------------------|---|----|---------|--------|-------|-----------|-----------|-----------|--------|---------|
| 指標                     | 災害への備えをしている市民割合   |    |         | 単位     | 基準値   | 実績値 (R02) | 実績値 (R03) | 目標値 (R07) | 指標のうごき |         |
|                        | ①   | 成果 | 市民アンケート | 上がると良い | 危機管理課 | %         | 54.8      | -         | 55.2   | ↗       |
| 評価                     | (原因)新型コロナウイルス感染症の影響により、地区内での防災訓練、講演会等が中止となりましたが、家にいる時間が多くなっていることなどから、家庭における備蓄品や非常持出品の見直し等が進んだことが要因と考えられます。<br>【統計誤差の範囲内です。】 |    |         |        |       |           |           |           | (横ばい)  |         |
|                        |   |    |         |        |       |           |           |           | 目標達成度  | ■■■ (中) |

**【目標値】**  
 目標値は、次の3つのパターンで表わしています。  
 数値：業務データから現状値を把握するもの  
 矢印：目標値を数値で表しにくいもの(アンケートによる把握、取得方法変更等)と現状維持のもの  
 ※アンケート指標については、統計誤差の関係があるため、方向性を矢印で表しています。  
 ー：指標区分が「社会」のもの及び目標設定がなじまないもの

**【指標のうごき】**  
 前期基準値(又は取得初年度)と比較した際の令和3年度の成果指標のうごきを、次の区分により示しています。  
 なお、市民アンケートから数値を取得しているものは、一定の統計誤差を考慮しています。  
 ☀(向上)：数値(成果)が前期基準値(又は取得初年度)に比べ向上しているもの  
 ☀(横ばい)：数値(成果)が前期基準値(又は取得初年度)に比べ微向上(横ばい)であるもの  
 ☹(横ばい)：数値(成果)が前期基準値(又は取得初年度)に比べ微低下(横ばい)であるもの  
 ☹(低下)：数値(成果)が前期基準値(又は取得初年度)に比べ低下しているもの  
 ー：累計以外で前期基準値がないもの、令和3年度に実績値がないもの、指標特性が「その他」のもの、取得初年度のもの  
 ※累計については、目標値に対する数値(成果)の進捗状況に応じて、区分しています。

**【目標達成度】**  
 成果指標の前期目標値への令和7年度(前期目標年度)を基準とした、達成度見込みを示しています。  
 ■■■ (達成)：前期目標値を達成しているもの  
 ■■■ (高)：令和6年度までに達成する可能性が高いもの  
 ■■■ (中)：令和7年度(前期目標年度)で達成する可能性が高いもの  
 ■■■ (低)：令和7年度(前期目標年度)で達成することが難しいもの  
 ー：前期目標値が「ー」のもの、令和3年度に実績値がないもの

(5) 施策・基本事業評価の動向

**政策 03 夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり**

**施策 01 学校・家庭・地域の連携による教育力の向上**

**施策の目指す姿**

学校・家庭・地域が連携し、子どもたちの学びを支える地域社会が形成されることで、子どもたちがいきいきと安全に暮らすことができます。

**施策の成果状況と評価**

| 指標① | 学校・家庭・地域が連携し、子どもたちの豊かな育ちを支え合う地域がつけられていると思う市民割合   |         |        | 単位    | 基準値 | 実績値 (R02) | 実績値 (R03) | 目標値 (R07) | 指標のうごき       |
|-----|--|---------|--------|-------|-----|-----------|-----------|-----------|--------------|
|     | 成果   | 市民アンケート | 上がると良い | 生涯学習課 | %   | 38.6      | —         | 37.3      | ➔            |
| 評価  | (原因) これまで学校・家庭・地域が連携し地域ぐるみで児童・生徒を支援する事業や安全・安心な居場所を提供する事業を実施してきましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大以前と比較し、当該事業の実施回数が減少したことが要因の1つと考えられます。<br>【統計誤差の範囲内です。】 |         |        |       |     |           |           |           | 目標達成度<br>(中) |

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 学校・家庭・地域の教育連携・協働の推進

| 指標① | 学校・家庭・地域が連携した取組に参加している市民割合  |         |        | 単位    | 基準値 | 実績値 (R02) | 実績値 (R03) | 目標値 (R07) | 指標のうごき |
|-----|---|---------|--------|-------|-----|-----------|-----------|-----------|--------|
|     | 成果  | 市民アンケート | 上がると良い | 生涯学習課 | %   | 16.4      | —         | 12.4      | ➔      |
| 評価  | (原因) これまで、学校・家庭・地域が連携し地域ぐるみで児童・生徒を支援する事業や安全・安心な居場所を提供する事業を実施してきましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大以前と比較し、当該事業の実施回数が減少したことが要因の1つと考えられます。<br>【統計誤差の範囲内です。】 |         |        |       |     |           |           |           | 目標達成度  |
|     |   |         |        |       |     |           |           |           | ■ (中)  |

基本事業01 学校・家庭・地域の教育連携・協働の推進

| 指標② | 学校だけでは得られない知識や経験を地域住民から学ぶことができていると感じている児童の割合 (小学生)   |       |        | 単位    | 基準値 | 実績値 (R02) | 実績値 (R03) | 目標値 (R07) | 指標のうごき |
|-----|--|-------|--------|-------|-----|-----------|-----------|-----------|--------|
|     | 成果   | 課独自調査 | 上がると良い | 生涯学習課 | %   | 77.3      | —         | 73.8      | ➔      |
| 評価  | 教育活動状況調査の結果<br>(原因) これまで、学校・家庭・地域が連携し地域ぐるみで小学生を支援する事業を行ってきましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大以前と比較し、当該事業の実施回数が減少したことが要因の1つと考えられます。<br>【前期基準値取得年度は、令和2年度です。】 |       |        |       |     |           |           |           | 目標達成度  |
|     |  |       |        |       |     |           |           |           | ■ (中)  |

基本事業01 学校・家庭・地域の教育連携・協働の推進

| 指標③ | 学校だけでは得られない知識や経験を地域住民から学ぶことができている生徒の割合 (中学生)   |       |        | 単位    | 基準値 | 実績値 (R02) | 実績値 (R03) | 目標値 (R07) | 指標のうごき |
|-----|--|-------|--------|-------|-----|-----------|-----------|-----------|--------|
|     | 成果   | 課独自調査 | 上がると良い | 生涯学習課 | %   | 80.9      | —         | 66.3      | ➔      |
| 評価  | 教育活動状況調査の結果<br>(原因) これまで、学校・家庭・地域が連携し地域ぐるみで中学生を支援する事業を行ってきましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大以前と比較し、当該事業の実施回数が減少したことが要因の1つと考えられます。<br>【前期基準値取得年度は、令和2年度です。】 |       |        |       |     |           |           |           | 目標達成度  |
|     |  |       |        |       |     |           |           |           | ■ (中)  |

基本事業02 青少年の健全育成

| 指標① | 青少年育成活動事業の延べ参加者数                                       |      |        | 単位    | 基準値 | 実績値 (R02) | 実績値 (R03) | 目標値 (R07) | 指標のうごき |
|-----|--|------|--------|-------|-----|-----------|-----------|-----------|--------|
|     | 代替   | 業務取得 | 上がると良い | 生涯学習課 | 人/年 | 839       | —         | 839       | ➔      |
| 評価  | 令和3年度から事業内容に大きな変更がありました。<br>(原因) 令和3年度の実績値が前期基準値となります。 |      |        |       |     |           |           |           | 目標達成度  |
|     |  |      |        |       |     |           |           |           | ■ (中)  |



## 政策 03 夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり

### 施策 02 学校教育の充実

#### 施策の目指す姿

児童・生徒の確かな学力、豊かな心、健やかな体が育まれることで、夢や希望が持てる充実した学校生活を送ることができています。

#### 施策の成果状況と評価

| 指標① | 学校生活が楽しいと思う児童割合（小学生）   |       |        | 単位    | 基準値 | 実績値 (R02) | 実績値 (R03) | 目標値 (R07) | 指標のうごき          |
|-----|--|-------|--------|-------|-----|-----------|-----------|-----------|-----------------|
|     | 成果   | 課独自調査 | 上がると良い | 教育総務課 | %   | 92.3      | —         | 88.3      | ➔               |
| 評価  | 教育活動状況調査の結果  |       |        |       |     |           |           |           | 指標のうごき<br>(横ばい) |
|     | (原因) 各校の工夫により児童が前向きに学習や友達づくりに取り組むことができているものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、臨時休業や学校行事の規模縮小など学校運営が大きく制限されたことが要因と考えられます。 |       |        |       |     |           |           |           | 目標達成度<br>(中)    |

| 指標② | 学校生活が楽しいと思う生徒割合（中学生）  |       |        | 単位    | 基準値 | 実績値 (R02) | 実績値 (R03) | 目標値 (R07) | 指標のうごき         |
|-----|---|-------|--------|-------|-----|-----------|-----------|-----------|----------------|
|     | 成果  | 課独自調査 | 上がると良い | 教育総務課 | %   | 81        | —         | 85.4      | ➔              |
| 評価  | 教育活動状況調査の結果   |       |        |       |     |           |           |           | 指標のうごき<br>(向上) |
|     | (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、学校行事の規模縮小など学校運営に制限がある中で、各校の工夫により、学習や行事活動、部活動等に取り組むことができたことが要因と考えられます。 |       |        |       |     |           |           |           | 目標達成度<br>(達成)  |

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 確かな学力の育成

| 指標① | 授業がわかると答える児童割合（小学生）  |       |        |       | 単位 | 基準値  | 実績値 (R02) | 実績値 (R03) | 目標値 (R07) | 指標のうごき           |
|-----|--|-------|--------|-------|----|------|-----------|-----------|-----------|------------------|
|     | 成果   | 課独自調査 | 上がると良い | 教育総務課 |    |      |           |           |           |                  |
| 評価  | 教育活動状況調査の結果  |       |        |       | %  | 90.3 | —         | 88.1      | ➔         | <br>目標達成度<br>(中) |
|     | (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、教室で児童同士が行う学び合いの活動が制限されたため、低学年の授業理解に影響が生じたことが要因と考えられます。 |       |        |       |    |      |           |           |           |                  |

基本事業01 確かな学力の育成

| 指標② | 授業がわかると答える生徒割合（中学生）   |       |        |       | 単位 | 基準値  | 実績値 (R02) | 実績値 (R03) | 目標値 (R07) | 指標のうごき            |
|-----|---|-------|--------|-------|----|------|-----------|-----------|-----------|-------------------|
|     | 成果  | 課独自調査 | 上がると良い | 教育総務課 |    |      |           |           |           |                   |
| 評価  | 教育活動状況調査の結果   |       |        |       | %  | 80.7 | —         | 84.1      | ➔         | <br>目標達成度<br>(達成) |
|     | (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、教室で生徒同士が行う学び合いの活動が制限されましたが、自学自習の習慣づくりやタブレット端末を活用した学習を推進するなど各校で工夫を重ねてきたことが要因と考えられます。 |       |        |       |    |      |           |           |           |                   |

基本事業02 豊かな心の育成

| 指標① | 不登校出現率  |      |        |       | 単位 | 基準値 | 実績値 (R02) | 実績値 (R03) | 目標値 (R07) | 指標のうごき           |
|-----|---|------|--------|-------|----|-----|-----------|-----------|-----------|------------------|
|     | 代替  | 業務取得 | 下がると良い | 教育総務課 |    |     |           |           |           |                  |
| 評価  | 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査を基に算出  |      |        |       | %  | 2.4 | —         | 2.8       | ➔         | <br>目標達成度<br>(中) |
|     | (原因) 学校生活や家庭生活に対する悩みや不安を抱え学校不適応や登校渋りとなる児童・生徒が増加しています。新型コロナウイルス感染症の影響による学校活動の制限により、学級活動や学校行事の規模が縮小され、人間関係の構築を図ることが難しい環境にあることに加え、様々な不安、ストレスによる影響が生じていることが要因と考えられます。 |      |        |       |    |     |           |           |           |                  |

基本事業02 豊かな心の育成

| 指標② | 再登校率  |      |     |       | 単位 | 基準値  | 実績値 (R02) | 実績値 (R03) | 目標値 (R07) | 指標のうごき       |
|-----|---|------|-----|-------|----|------|-----------|-----------|-----------|--------------|
|     | 代替  | 業務取得 | その他 | 教育総務課 |    |      |           |           |           |              |
| 評価  | 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査を基に算出  |      |     |       | %  | 19.8 | —         | 35.2      | —         | 目標達成度<br>--- |
|     | (原因) 不登校児童・生徒に対して、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる相談対応、学び支援教室等の別室登校への対応、心のケアハウスの運営など様々な支援を行ってきたことが要因と考えられます。なお、令和2年度まで県調査を算定基礎としていたところ、調査項目の変更により算定が行えなくなったことから、令和3年度から算定基礎を変更するとともに、前期基準値についても、当該算定による数値に変更しています。 |      |     |       |    |      |           |           |           |              |

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 健やかな体の育成

| 指標<br>① | 基本的な生活習慣を身に付けている児童割合（小学生）   |      |        |       | 単位 | 基準値  | 実績値<br>(R02) | 実績値<br>(R03) | 目標値<br>(R07) | 指標の<br>うごき |
|---------|---|------|--------|-------|----|------|--------------|--------------|--------------|------------|
|         | 成果  | 業務取得 | 上がると良い | 教育総務課 | %  | 87.1 | —            | 90.3         | →            |            |
| 評価      | 全国学力・学習状況調査の結果  |      |        |       |    |      |              |              |              | ☀<br>(向上)  |
|         | (原因) 自宅で過ごす時間の増加に伴い、朝食を毎日食べることや、適度な睡眠を取ることといった基本的な生活習慣について、学校や家庭で声掛けを行ったことが要因と考えられます。 |      |        |       |    |      |              |              |              | 目標<br>達成度  |
| (達成)    |   |      |        |       |    |      |              |              |              |            |

基本事業03 健やかな体の育成

| 指標<br>② | 基本的な生活習慣を身に付けている生徒割合（中学生）   |      |        |       | 単位 | 基準値  | 実績値<br>(R02) | 実績値<br>(R03) | 目標値<br>(R07) | 指標の<br>うごき |
|---------|---|------|--------|-------|----|------|--------------|--------------|--------------|------------|
|         | 成果  | 業務取得 | 上がると良い | 教育総務課 | %  | 81.7 | —            | 87.8         | →            |            |
| 評価      | 全国学力・学習状況調査の結果  |      |        |       |    |      |              |              |              | ☀<br>(向上)  |
|         | (原因) 自宅で過ごす時間の増加に伴い、朝食を毎日食べることや、適度な睡眠を取ることといった基本的な生活習慣について、学校や家庭で声掛けを行ったことが要因と考えられます。 |      |        |       |    |      |              |              |              | 目標<br>達成度  |
| (達成)    |   |      |        |       |    |      |              |              |              |            |

基本事業04 教育環境の保全と運営

| 指標<br>① | 授業及び学校生活に支障をきたした件数   |      |        |       | 単位  | 基準値 | 実績値<br>(R02) | 実績値<br>(R03) | 目標値<br>(R07) | 指標の<br>うごき |
|---------|--|------|--------|-------|-----|-----|--------------|--------------|--------------|------------|
|         | 成果   | 業務取得 | 下がると良い | 教育総務課 | 件/年 | 0   | —            | 0            | 0            |            |
| 評価      |  |      |        |       |     |     |              |              |              | ☀<br>(横ばい) |
|         | (原因) 学校施設の維持管理に当たっては、定期的に施設設備の点検を行い、不具合発生前に修繕箇所を手当するなど、きめ細かい対応を行ったことが要因です。 |      |        |       |     |     |              |              |              | 目標<br>達成度  |
| (達成)    |  |      |        |       |     |     |              |              |              |            |



**政策 03 夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり**

**施策 03 生涯学習の促進**

**施策の目指す姿**

生涯を通じて学び、活躍できる機会や場があることで、生きがいを持って社会に参加し、心豊かに暮らすことができます。

**施策の成果状況と評価**

| 指標① | 生涯学習を行っている市民割合  |         |        | 単位    | 基準値 | 実績値 (R02) | 実績値 (R03) | 目標値 (R07) | 指標のうごき          |
|-----|---|---------|--------|-------|-----|-----------|-----------|-----------|-----------------|
|     | 成果  | 市民アンケート | 上がると良い | 生涯学習課 | %   | 71.3      | —         | 71.2      | ➔               |
| 評価  | (原因) 公民館など公共機関での講座や教室、同好者の集まり、サークル活動については減少しており、新型コロナウイルス感染症の影響により、集合しての活動が縮小されていることが要因と考えられます。一方で、学習の場所や方法について、インターネット、テレビ・ラジオ、自宅での学習の割合が高く、個人で学習する環境が整い、学習機会が増えていることから、大きな低下とはなりません。【統計誤差の範囲内です。】 |         |        |       |     |           |           |           | 指標のうごき<br>(横ばい) |
|     |   |         |        |       |     |           |           |           | 目標達成度<br>■■ (中) |

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 学びと発揮の機会の確保

| 指標① | 学習機会に満足している市民割合   |         |        |       | 単位 | 基準値  | 実績値 (R02) | 実績値 (R03) | 目標値 (R07) | 指標のうごき |       |
|-----|---|---------|--------|-------|----|------|-----------|-----------|-----------|--------|-------|
|     | 成果  | 市民アンケート | 上がると良い | 生涯学習課 | %  | 88.3 | —         | 86.2      | →         |        |       |
| 評価  | (原因) 70歳以上の世代では減少しており、新型コロナウイルス感染症の影響で、対面での学習の機会が少なくなっていることが要因と考えられます。一方で、70歳以上を除く世代で満足と答えた方の割合が増加しました。インターネットなどを含む学習環境の整備が進み、多様な方法から選択ができるようになったことから、大きな低下とはなりません。【統計誤差の範囲です。】 |         |        |       |    |      |           |           |           | 指標のうごき | (横ばい) |
|     |   |         |        |       |    |      |           |           |           | 目標達成度  | ■ (中) |

基本事業01 学びと発揮の機会の確保

| 指標② | 学習成果を生かしている市民割合  |         |        |       | 単位 | 基準値  | 実績値 (R02) | 実績値 (R03) | 目標値 (R07) | 指標のうごき |       |
|-----|--|---------|--------|-------|----|------|-----------|-----------|-----------|--------|-------|
|     | 成果   | 市民アンケート | 上がると良い | 生涯学習課 | %  | 66.4 | —         | 65.8      | →         |        |       |
| 評価  | (原因) 仕事・就職などに生かしていると答えた方の割合が増加しましたが、地域活動・社会活動に生かしていると答えた方の割合が減少しました。新型コロナウイルス感染症の影響で、地域活動・社会活動の機会が減少していることが要因と考えられます。【統計誤差の範囲内です。】 |         |        |       |    |      |           |           |           | 指標のうごき | (横ばい) |
|     |  |         |        |       |    |      |           |           |           | 目標達成度  | ■ (中) |

基本事業02 文化芸術の振興

| 指標① | 文化芸術の直接鑑賞をしている市民割合   |         |        |       | 単位 | 基準値  | 実績値 (R02) | 実績値 (R03) | 目標値 (R07) | 指標のうごき |       |
|-----|--|---------|--------|-------|----|------|-----------|-----------|-----------|--------|-------|
|     | 成果   | 市民アンケート | 上がると良い | 生涯学習課 | %  | 53.3 | —         | 49.9      | →         |        |       |
| 評価  | (原因) 年齢が高くなるほど鑑賞していないと答えた方の割合が高くなっています。新型コロナウイルス感染症の影響で、鑑賞の機会が少なくなっていることが要因と考えられます。【統計誤差の範囲内です。】 |         |        |       |    |      |           |           |           | 指標のうごき | (横ばい) |
|     |  |         |        |       |    |      |           |           |           | 目標達成度  | ■ (中) |

基本事業02 文化芸術の振興

| 指標② | 文化芸術活動をしている市民割合  |         |        |       | 単位 | 基準値  | 実績値 (R02) | 実績値 (R03) | 目標値 (R07) | 指標のうごき |       |
|-----|--|---------|--------|-------|----|------|-----------|-----------|-----------|--------|-------|
|     | 成果   | 市民アンケート | 上がると良い | 生涯学習課 | %  | 18.6 | —         | 17.1      | →         |        |       |
| 評価  | (原因) 高齢者世代での減少が見られ、また、地域の伝統的な祭りや芸能への参加と答えた方の割合が減少しています。新型コロナウイルス感染症の影響で、地域の行事や、高齢者の活動が減少していることが要因と考えられます。【統計誤差の範囲内です。】 |         |        |       |    |      |           |           |           | 指標のうごき | (横ばい) |
|     |  |         |        |       |    |      |           |           |           | 目標達成度  | ■ (中) |

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 生涯学習施設の保全と運営

| 指標<br>① | 生涯学習施設を利用している市民割合   |         |        | 単位    | 基準値 | 実績値<br>(R02) | 実績値<br>(R03) | 目標値<br>(R07) | 指標の<br>うごき  |
|---------|---|---------|--------|-------|-----|--------------|--------------|--------------|---|
|         | 代替  | 市民アンケート | 上がると良い | 生涯学習課 | %   | 52.2         | —            | 55           |   |
| 評価      | <p>(原因) 市民会館の利用については、全ての世代で増加しています。新型コロナウイルス感染症の影響で中止していた催しが再開していることが要因と考えられます。<br/>【統計誤差の範囲内です。】</p> |         |        |       |     |              |              |              | <p>☀<br/>(横ばい)</p> <p>目標<br/>達成度</p> <p>■<br/>(中)</p> |





**政策 03 夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり**

**施策 04 市民スポーツ社会の促進**

**施策の目指す姿**

運動・スポーツに親しむ機会や場があり、生涯を通じて、運動・スポーツの楽しさや感動を分かち合うことで、活力をもって暮らすことができます。

**施策の成果状況と評価**

| 指標① | 週1回以上運動・スポーツをしている市民割合   |         |        | 単位    | 基準値 | 実績値 (R02) | 実績値 (R03) | 目標値 (R07) | 指標のうごき             |
|-----|---|---------|--------|-------|-----|-----------|-----------|-----------|--------------------|
|     | 成果  | 市民アンケート | 上がると良い | 生涯学習課 | %   | 46.2      | —         | 46.5      | ➔                  |
| 評価  | (原因)新型コロナウイルス感染症の影響で、自宅での生活が長くなったことにより、体操、階段昇降など室内でできる軽運動を行う人の割合が増えたことが要因と考えられます。<br>一方で、外出を控える人が増え、外での運動機会の減少や、体育施設の利用者数が低下していることが、大きな伸びにつながらない要因と考えられます。<br>【統計誤差の範囲内です。】 |         |        |       |     |           |           |           | 目標達成度<br>■■<br>(中) |

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 スポーツ機会の確保

| 指標① | 運動・スポーツ機会に満足している市民割合   |         |        |       | 単位    | 基準値  | 実績値 (R02) | 実績値 (R03) | 目標値 (R07) | 指標のうごき |
|-----|--|---------|--------|-------|-------|------|-----------|-----------|-----------|--------|
|     | 成果   | 市民アンケート | 上がると良い | 生涯学習課 | %     | 81.7 | —         | 82.1      | →         |        |
| 評価  | (原因)新型コロナウイルス感染症の影響で、自宅での生活が長くなったことにより、自宅などで運動する人の割合が増えたことが要因と考えられます。<br>【統計誤差の範囲内です。】 |         |        |       |       |      |           |           |           | 目標達成度  |
|     |  |         |        |       | ■ (中) |      |           |           |           |        |

基本事業01 スポーツ機会の確保

| 指標② | スポーツ等の教室・大会の参加者数                                 |      |        |       | 単位    | 基準値   | 実績値 (R02) | 実績値 (R03) | 目標値 (R07) | 指標のうごき |
|-----|--|------|--------|-------|-------|-------|-----------|-----------|-----------|--------|
|     | 代替   | 業務取得 | 上がると良い | 生涯学習課 | 人/年   | 5,330 | —         | 4,748     | 5,500     |        |
| 評価  | (原因)新型コロナウイルス感染症の影響により、社会体育事業の事業開催数が減少したことが要因です。 |      |        |       |       |       |           |           |           | 目標達成度  |
|     |  |      |        |       | ■ (中) |       |           |           |           |        |

基本事業02 社会体育施設等の保全と運営

| 指標① | 社会体育施設等の利用者数   |      |        |       | 単位    | 基準値     | 実績値 (R02) | 実績値 (R03) | 目標値 (R07) | 指標のうごき |
|-----|--|------|--------|-------|-------|---------|-----------|-----------|-----------|--------|
|     | 代替   | 業務取得 | 上がると良い | 生涯学習課 | 人/年   | 296,806 | —         | 215,082   | 350,000   |        |
| 評価  | 市内公有社会体育施設及び学校開放施設の利用者数です。<br>(原因)新型コロナウイルス感染症の影響により、施設の閉館期間があったことや施設の利用を控える傾向にあったことが、要因と考えられます。 |      |        |       |       |         |           |           |           | 目標達成度  |
|     |  |      |        |       | ■ (中) |         |           |           |           |        |

**政策 03 夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり**

**施策 05 文化財の保護と活用**

**施策の目指す姿**

文化財が適切に保護・継承され、まちづくりに有効に活用されることで、市民が歴史と文化を身近に感じることができています。

**施策の成果状況と評価**

| 指標 | 市の歴史と文化を身近に感じている市民割合  |    |         | 単位     | 基準値  | 実績値 (R02) | 実績値 (R03) | 目標値 (R07) | 指標のうごき                |
|----|---|----|---------|--------|------|-----------|-----------|-----------|-----------------------|
|    | ①   | 成果 | 市民アンケート | 上がると良い | 文化財課 | %         | 55.2      | —         |                       |
| 評価 | (原因)「市の歴史や文化を身近に感じている」、「やや身近に感じている」の両方で、ポイントが増加しました。日本遺産や南門等復元整備の進捗に伴いメディアで取り上げられたことや見学会等を実施したことにより、市内の文化財を知る機会が増えたことが要因と考えられます。【統計誤差の範囲内です。】 |    |         |        |      |           |           |           | (横ばい)<br>目標達成度<br>(中) |

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 文化財の調査・保存の推進

| 指標① | 適正に調査・保護された文化財の件数  |    |      |     | 単位   | 基準値 | 実績値 (R02) | 実績値 (R03) | 目標値 (R07) | 指標のうごき |       |
|-----|--|----|------|-----|------|-----|-----------|-----------|-----------|--------|-------|
|     |  | 代替 | 業務取得 | その他 | 文化財課 | 件   | 188       | —         | 244       | —      |       |
| 評価  | 周知の埋蔵文化財包蔵地の届出等件数及び特別史跡内現状変更申請件数   |    |      |     |      |     |           |           |           |        | ---   |
|     | <p>(原因) 住宅建築や宅地造成などの増加に伴い、発掘調査の届出件数が増加しました。住宅需要に比例して届出件数が増減しますが、西部地区での高い住宅需要を反映し、近年は高い水準で届出件数が推移していることが主な要因です。</p> |    |      |     |      |     |           |           |           |        | 目標達成度 |

基本事業02 文化財の活用促進

| 指標① | 活用されている文化財の面積                                     |    |      |        | 単位   | 基準値 | 実績値 (R02) | 実績値 (R03) | 目標値 (R07) | 指標のうごき  |         |
|-----|---|----|------|--------|------|-----|-----------|-----------|-----------|---------|---------|
|     |   | 成果 | 業務取得 | 上がると良い | 文化財課 | ㎡   | 193,393   | —         | 248,995   | 360,895 |         |
| 評価  | <p>(原因) 中央公園整備地の供用開始に伴い史跡の活用面積が増加したことが主な要因です。</p> |    |      |        |      |     |           |           |           |         | ☀ (横ばい) |
|     |   |    |      |        |      |     |           |           |           |         | 目標達成度   |

基本事業02 文化財の活用促進

| 指標② | 市内所在の文化財等訪問者数  |    |      |        | 単位   | 基準値 | 実績値 (R02) | 実績値 (R03) | 目標値 (R07) | 指標のうごき  |        |
|-----|--|----|------|--------|------|-----|-----------|-----------|-----------|---------|--------|
|     |  | 代替 | 業務取得 | 上がると良い | 文化財課 | 人/年 | 135,009   | —         | 81,434    | 170,000 |        |
| 評価  | <p>(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛により、市内文化財等へ訪問する機会が減少したことが主な要因です。</p> |    |      |        |      |     |           |           |           |         | ☂ (低下) |
|     |  |    |      |        |      |     |           |           |           |         | 目標達成度  |

基本事業03 文化財の普及啓発

| 指標① | 市内所在文化財等の平均認知項目数  |    |         |        | 単位   | 基準値 | 実績値 (R02) | 実績値 (R03) | 目標値 (R07) | 指標のうごき |         |
|-----|---|----|---------|--------|------|-----|-----------|-----------|-----------|--------|---------|
|     |   | 成果 | 市民アンケート | 上がると良い | 文化財課 | 項目  | 8.06      | —         | 7.8       | →      |         |
| 評価  | <p>(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛により、文化財を実際に目にする機会が減少し、記憶に残りにくいことが要因と考えられます。</p> |    |         |        |      |     |           |           |           |        | ☁ (横ばい) |
|     |   |    |         |        |      |     |           |           |           |        | 目標達成度   |



#### 4 事務事業の点検・評価

教育委員会において実施した事業のうち、令和3年度主要な施策（総合計画に定める「基本事業」に大きく貢献する事業。）21事業について点検・評価を行いました。

##### (1) 評価結果の概要

| 事業状況    | 事務事業数 | 成果向上   | 事務事業数 |
|---------|-------|--------|-------|
| 順調である   | 3件    | 向上余地は小 | 7件    |
| 概ね順調である | 12件   | 向上余地は中 | 13件   |
| 順調ではない  | 6件    | 向上余地は大 | 1件    |
| 合計      | 21件   | 合計     | 21件   |

(2) 令和3年度主要な施策一覧

|                     |
|---------------------|
| 教育委員会所管主要事業<br>21事業 |
|---------------------|

| 事業状況 |         | 上位貢献 |   |
|------|---------|------|---|
| 1    | 順調である   | 1    | 大 |
| 2    | 概ね順調である | 2    | 中 |
| 3    | 順調ではない  | 3    | 小 |

- 事業状況…事務事業の進捗状況について、当初予定と比較した状況となります。
  - 成果向上…事務事業を継続することにより、成果指標が今後も向上するのか、またはやり方を変えることにより成果向上が見込めないかどうかを検討します。
- ※主要事業とは、総合計画に定める「基本事業」に大きく貢献する事業です。

【政策3】 歴史・文化を継承し豊かな心を育むまち

| No. | 政策 | 施策 | 基本事業 | 事務事業名                          | 担当課等        | R3年度          | 事業       | 上位       |
|-----|----|----|------|--------------------------------|-------------|---------------|----------|----------|
|     |    |    |      |                                |             | 決算額<br>(千円単位) | 状況<br>R3 | 貢献<br>R3 |
| 1   | 03 | 01 | 01   | 地域とともにある学校づくり事業(地域学校協働活動事業)    | 生涯学習課       | 2,258         | 3        | 1        |
| 2   | 03 | 02 | 01   | 多賀城市・太宰府市中学生交流事業               | 教育総務課       | 50            | 2        | 2        |
| 3   | 03 | 02 | 02   | たがじょう心のケア教育相談事業                | 教育総務課       | 15,870        | 2        | 2        |
| 4   | 03 | 02 | 03   | 学校給食調理事業                       | 学校給食センター    | 442,863       | 2        | 2        |
| 5   | 03 | 02 | 04   | 小学校環境整備事業                      | 教育総務課       | 488,325       | 2        | 2        |
| 6   | 03 | 02 | 04   | 中学校環境整備事業                      | 教育総務課       | 231,248       | 2        | 2        |
| 7   | 03 | 02 | 04   | 小中学校通学区域適正化事業                  | 教育総務課       | 0             | 3        | 2        |
| 8   | 03 | 02 | 04   | 小学校学校施設維持管理事業                  | 教育総務課       | 175,501       | 3        | 2        |
| 9   | 03 | 02 | 04   | 学校ICT整備事業[小学校]                 | 教育総務課       | 106,768       | 2        | 2        |
| 10  | 03 | 02 | 04   | 学校ICT整備事業[中学校]                 | 教育総務課       | 53,083        | 2        | 2        |
| 11  | 03 | 02 | 04   | 地域とともにある学校づくり事業(コミュニティ・スクール事業) | 教育総務課       | 173           | 2        | 2        |
| 12  | 03 | 03 | 03   | 文化センター管理運営事業                   | 生涯学習課       | 143,632       | 2        | 2        |
| 13  | 03 | 03 | 03   | 文化センター改修事業                     | 生涯学習課       | 7,889         | 1        | 1        |
| 14  | 03 | 03 | 03   | 市立図書館管理運営事業                    | 生涯学習課       | 306,227       | 2        | 1        |
| 15  | 03 | 03 | 03   | 大代地区公民館改修事業                    | 生涯学習課       | 3,068         | 1        | 1        |
| 16  | 03 | 04 | 01   | 東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業       | 生涯学習課       | 795           | 1        | 3        |
| 17  | 03 | 05 | 01   | 埋蔵文化財調査受託事業(大区画ほ場整備促進事業)       | 埋蔵文化財調査センター | 24,718        | 3        | 1        |
| 18  | 03 | 05 | 02   | 特別史跡多賀城跡復元整備事業                 | 文化財課        | 317,192       | 2        | 1        |
| 19  | 03 | 05 | 03   | 地域とともにある学校づくり事業(民俗芸能体験事業)      | 文化財課        | 360           | 3        | 2        |
| 20  | 03 | 05 | 03   | 歴史遺産保全・発信事業                    | 埋蔵文化財調査センター | 8,721         | 2        | 2        |
| 21  | 03 | 05 | 99   | 特別史跡多賀城跡附寺跡保存活用計画策定事業          | 文化財課        | 0             | 3        | 1        |

| 指標<br>結果 | 事業状況    |    | 上位貢献 |    |
|----------|---------|----|------|----|
|          |         | R3 |      | R3 |
|          | 順調である   | 3  | 小    | 7  |
|          | 概ね順調である | 12 | 中    | 13 |
| 順調ではない   | 6       | 大  | 1    |    |

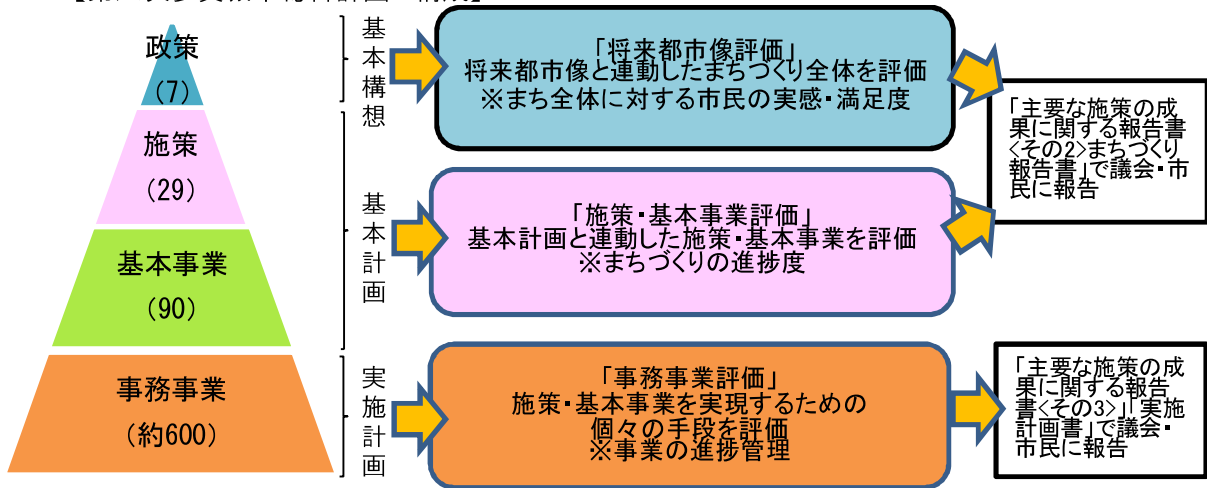
# V 事務事業評価表(実施計画及び主要事業)

## (3) 事務事業評価表とは

事務事業評価表は、基本事業を実現するための具体的な手段である「事務事業」について、上位施策の成果向上や目標達成に貢献しているか、より効果的な手法はないか、コストの妥当性や効率性はどうかといった項目について、年度ごとの予算・決算の状況を反映し、市が評価し、作成したものです。

年度ごとに評価を行うことで、事業進捗状況を確認するとともに、事業における手段の改革、改善を検討することに繋がっています。

【第六次多賀城市総合計画の構成】



○掲載事業

実施計画事業(※)及び主要事業(総合計画に定める「基本事業」に大きく貢献する事業)を掲載しています。

※ 実施計画とは

「実施計画」は、施策及び基本事業を実現するため、計画的に取り組む主要な事務事業を明らかにするもので、毎年度の予算編成や当面の行財政運営の指針とするものです。実施計画に掲げる事務事業は、「①重点テーマに大きく寄与する政策的な事務事業」、「②普通建設事業(国、県、市事業の負担金などを含みます。）」、「③公共施設の長寿命化対策等に資する事務事業」の基準に該当するものを対象とします。

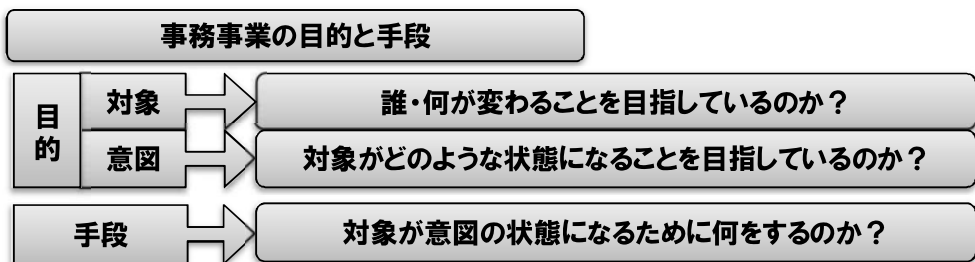
事業計画期間は、3年間ですが、社会情勢の変化が著しいことから、毎年度見直すこととしています。また、補正予算においても実施計画対象基準に該当する事業が計上されることから、実施計画事業を追加しています。

## (4) 「事務事業評価」と評価表の見方

事務事業をより効果的、効率的に実施するためには、意図(事業実施により、対象をどのような状態にしたいのか)と対象(誰に対して事業を行うのか)を明確にすることが重要となります。

この報告書では、「事務事業評価」として、掲載事業の経過、当該年度の取組内容や指標及び事業費の推移、また、それを踏まえた評価結果を示しています。

これは、事務事業がどのような状態を目指しているのかと事務事業の成果をわかりやすく簡潔に表すための仕組みであり、また、事務事業の取組結果が将来都市像やまちづくりに貢献するかどうかを総合計画の体系の中で確認・検証し、次の施策展開に反映するための仕組みでもあります。





## < 事務事業評価表の見方 >

基本事業を実現する手段である事務事業のうち、主要な事業について、事務事業評価により事業の全容を行政評価の視点で記載しています。「目的はまちづくりにつながっているか」「何をどの程度実施したか」「手段は目的達成のために適切か」「コストは適切か」といった視点で評価・検討を行い、業務改善へとつなげるものです。

| <p>●開始年度・終了年度・・・年度が決まっている場合に記載しています。</p> <p>●実施計画・重点テーマ・総合戦略・・・該当する事業に「○」を付しています。</p>  |     | <p>要 [999] (事項別明細書 ページ)</p>   |  |  |                                 |      |      |      |     |    |     |      |      |                         |  |  |                                 |    |         |    |   |   |   |
|--|-----|---|--|--|---------------------------------|------|------|------|-----|----|-----|------|------|-------------------------|--|--|---------------------------------|----|---------|----|---|---|---|
| <p>事務事業名称</p> <p>開始年度 終了年度</p> <p>実施計画 ○ 重点テーマ ○ 総合戦略</p>  |     | <p>担当部<br/>担当課<br/>担当係</p> <p>●事項別明細書・・・それぞれの会計における事項別明細書のページを記載しています。</p> <p>●担当・・・令和4年度担当部署を記載しています。</p>  |  |  |                                 |      |      |      |     |    |     |      |      |                         |  |  |                                 |    |         |    |   |   |   |
| <p>会計<br/>款<br/>項<br/>目</p> <p>●会計・・・一般会計、特別会計、事業会計の区分</p> <p>●款項目・・・支出科目</p>  |     | <p>●政策・施策・基本事業・・・第六次多賀城市総合計画前期基本計画における位置付けを記載しています。</p> <p>政策<br/>施策<br/>基本事業</p>   |  |  |                                 |      |      |      |     |    |     |      |      |                         |  |  |                                 |    |         |    |   |   |   |
| <p>事務事業の開始背景(根拠)、概要</p> <p>●事務事業の開始背景(根拠)、概要・・・複数の予算科目を合算している事務事業については、【この事務事業は○○と○○を合わせた事業です】と記載しています。</p> <p>対象(誰、何に対して働き掛けるのか)</p> <p>●対象・・・事務事業を通して市が働きかける、または恩恵を受ける人や団体、場所などを記載しています。</p> <p>意図(対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>●意図・・・事務事業を行うことにより、「対象」をどのような状態にしたいのかを記載しています。</p>   |     | <p>事務事業の全体計画</p> <p>●事務事業の全体計画・・・事務事業のこれまでの主な経過、全体計画(決定している場合)を記載しています。</p> <p>手段(03年度の取り組み)</p> <p>●手段・・・この事務事業において、当該年度に行う取り組みを記載しています。また、事業の特定財源(補助制度等)を活用した場合は、【○○補助金 国○/○】というように、参考として記載しています。繰越事業については、その旨を記載しています。</p>   |  |  |                                 |      |      |      |     |    |     |      |      |                         |  |  |                                 |    |         |    |   |   |   |
| <p>○指標、事業費の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">指標名</th> <th rowspan="2">単位</th> <th>31年度</th> <th>02年度</th> <th>03年度</th> </tr> <tr> <th>実績</th> <th>実績</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">対象指標</td> <td>A</td> <td rowspan="6">●対象指標・・・対象の規模を示すものさしです。</td> <td rowspan="6">●事業費・・・コスト推移の目安として、事業費及び財源内訳を千円単位で記載しています。「その他」には、繰越や使用料等、他の欄に該当しない財源をまとめています。※公営企業会計については、事業費に正職員人件費が含まれています。</td> <td rowspan="6">●正職員人件費・・・正職員人工数×平均人件費(給与費に保険等の事業主負担分を含めた1人当たり平均雇用コスト800万円)により算定しています。</td> <td rowspan="6">●トータルコスト・・・事業費に、正職員人件費を加えたものです。</td> </tr> <tr> <td>B</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">活動指標</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>D</td> </tr> <tr> <td>E</td> </tr> <tr> <td>F</td> </tr> </tbody> </table> |     |   | 区分   | 指標名  | 単位                              | 31年度 | 02年度 | 03年度 | 実績  | 実績 | 実績  | 対象指標 | A    | ●対象指標・・・対象の規模を示すものさしです。 | ●事業費・・・コスト推移の目安として、事業費及び財源内訳を千円単位で記載しています。「その他」には、繰越や使用料等、他の欄に該当しない財源をまとめています。※公営企業会計については、事業費に正職員人件費が含まれています。 | ●正職員人件費・・・正職員人工数×平均人件費(給与費に保険等の事業主負担分を含めた1人当たり平均雇用コスト800万円)により算定しています。 | ●トータルコスト・・・事業費に、正職員人件費を加えたものです。 | B  | 活動指標    | C  | D | E | F |
| 区分   | 指標名 | 単位  |  |  |                                 | 31年度 | 02年度 | 03年度 |     |    |     |      |      |                         |  |  |                                 |    |         |    |   |   |   |
|  |     |   | 実績   | 実績   | 実績                              |      |      |      |     |    |     |      |      |                         |  |  |                                 |    |         |    |   |   |   |
| 対象指標   | A   | ●対象指標・・・対象の規模を示すものさしです。   | ●事業費・・・コスト推移の目安として、事業費及び財源内訳を千円単位で記載しています。「その他」には、繰越や使用料等、他の欄に該当しない財源をまとめています。※公営企業会計については、事業費に正職員人件費が含まれています。 | ●正職員人件費・・・正職員人工数×平均人件費(給与費に保険等の事業主負担分を含めた1人当たり平均雇用コスト800万円)により算定しています。 | ●トータルコスト・・・事業費に、正職員人件費を加えたものです。 |      |      |      |     |    |     |      |      |                         |  |  |                                 |    |         |    |   |   |   |
|  | B   |   |  |  |                                 |      |      |      |     |    |     |      |      |                         |  |  |                                 |    |         |    |   |   |   |
| 活動指標   | C   |   |  |  |                                 |      |      |      |     |    |     |      |      |                         |  |  |                                 |    |         |    |   |   |   |
|  | D   |   |  |  |                                 |      |      |      |     |    |     |      |      |                         |  |  |                                 |    |         |    |   |   |   |
|  | E   |   |  |  |                                 |      |      |      |     |    |     |      |      |                         |  |  |                                 |    |         |    |   |   |   |
|  | F   |   |  |  |                                 |      |      |      |     |    |     |      |      |                         |  |  |                                 |    |         |    |   |   |   |
| <p>付記事項</p> <p>●付記事項・・・補足説明などを記載しています。</p>   |     | <table border="1"> <tr> <td>合計</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>国支出金</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>県支出金</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>正職員人工数</td> <td>人工</td> </tr> <tr> <td>正職員人件費</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>トータルコスト</td> <td>千円</td> </tr> </table> | 合計   | 千円   | 国支出金                            | 千円   | 県支出金 | 千円   | 地方債 | 千円 | その他 | 千円   | 一般財源 | 千円                      | 正職員人工数   | 人工   | 正職員人件費                          | 千円 | トータルコスト | 千円 |   |   |   |
| 合計   | 千円  |   |  |  |                                 |      |      |      |     |    |     |      |      |                         |  |  |                                 |    |         |    |   |   |   |
| 国支出金   | 千円  |   |  |  |                                 |      |      |      |     |    |     |      |      |                         |  |  |                                 |    |         |    |   |   |   |
| 県支出金   | 千円  |   |  |  |                                 |      |      |      |     |    |     |      |      |                         |  |  |                                 |    |         |    |   |   |   |
| 地方債  | 千円  |   |  |  |                                 |      |      |      |     |    |     |      |      |                         |  |  |                                 |    |         |    |   |   |   |
| その他  | 千円  |   |  |  |                                 |      |      |      |     |    |     |      |      |                         |  |  |                                 |    |         |    |   |   |   |
| 一般財源   | 千円  |   |  |  |                                 |      |      |      |     |    |     |      |      |                         |  |  |                                 |    |         |    |   |   |   |
| 正職員人工数   | 人工  |   |  |  |                                 |      |      |      |     |    |     |      |      |                         |  |  |                                 |    |         |    |   |   |   |
| 正職員人件費   | 千円  |   |  |  |                                 |      |      |      |     |    |     |      |      |                         |  |  |                                 |    |         |    |   |   |   |
| トータルコスト  | 千円  |   |  |  |                                 |      |      |      |     |    |     |      |      |                         |  |  |                                 |    |         |    |   |   |   |
| <p>○これまでの取り組みの評価</p> <p>事業状況</p> <p>□ 順調である</p> <p>□ 概ね順調である</p> <p>□ 順調ではない</p> <p>●事業状況・・・「意図」欄又は「指標」に係る計画値に対する達成度合いからみた事務事業の進捗状況を記載しています。</p> <p>上位貢献</p> <p>□ 貢献度は大</p> <p>□ 貢献度は中</p> <p>□ 貢献度は小</p> <p>●上位貢献・・・この事業が、将来都市像や施策・基本事業の目指す姿や指標に対して、貢献している度合いを記載しています。</p>  |     |   |  |  |                                 |      |      |      |     |    |     |      |      |                         |  |  |                                 |    |         |    |   |   |   |

## (5) 点検・評価表（事務事業評価表）

### 政策 3

#### 夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり（教育文化）

##### 【施策】

- 3-1 学校・家庭・地域の連携による教育力の向上
- 3-2 学校教育の充実
- 3-3 生涯学習の促進
- 3-4 市民スポーツ社会の促進
- 3-5 文化財の保護と活用

##### 政策 1

みんなの力で減災 安全で安心に暮らせるまちづくり（安全安心）

##### 【施策】

- 1-1 防災・減災対策の推進
- 1-2 防犯対策の推進
- 1-3 安全な消費生活の確保
- 1-4 交通安全対策の推進

##### 政策 5

地域の資源と知恵をいかす 活気あふれるまちづくり（産業活気）

##### 【施策】

- 5-1 農業の振興
- 5-2 商工業の振興
- 5-3 地域資源を活用した販売の創出

##### 政策 2

健やかで優しい 支え合いのあるまちづくり（健康福祉）

##### 【施策】

- 2-1 地域福祉の推進
- 2-2 健康づくりの促進
- 2-3 子育て支援の充実
- 2-4 高齢者福祉の推進
- 2-5 障害者（児）福祉の推進
- 2-6 社会保障等の充実

##### 政策 6

地域の未来を共に創る 絆と誇りを築くまちづくり（地域創生）

##### 【施策】

- 6-1 地域経営の振興
- 6-2 多様な主体との連携・協働によるまちづくりの推進
- 6-3 地域資源を活用した市民文化の創造

##### 政策 4

都市と自然の環境調和 快適で潤いのあるまちづくり（生活環境）

##### 【施策】

- 4-1 自然と生活環境の調和
- 4-2 循環型社会の促進
- 4-3 良好なまちなみの保全
- 4-4 都市インフラの保全

##### 政策 7

縮減社会への対応 持続可能な行財政経営（行財政経営）

##### 【施策】

- 7-1 適正な事務の執行と行政サービスの提供
- 7-2 組織・人事マネジメントの推進
- 7-3 健全な企業経営の推進
- 7-4 環境変化に対応した行財政経営の推進

地域とともにある学校づくり事業 (地域学校協働活動事業)

担当部 教育委員会事務局  
 担当課 生涯学習課  
 担当係 社会教育係

開始年度 終了年度 実施計画 ○ 重点テーマ ○ 総合戦略

|    |            |      |                          |
|----|------------|------|--------------------------|
| 会計 | 01 一般会計    |      |                          |
| 款  | 10 教育費     | 政 策  | 03 夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり |
| 項  | 04 社会教育費   | 施 策  | 01 学校・家庭・地域の連携による教育力の向上  |
| 目  | 02 社会教育振興費 | 基本事業 | 01 学校・家庭・地域の教育連携・協働の推進   |

| 事務事業の開始背景 (根拠)、概要   | 事務事業の全体計画   |
|---|---|
| 子どもを取り巻く環境が大きく変化しており、健やかな成長のためには、学校、家庭及び地域が役割と責任を自覚し、地域全体で教育に取り組む必要があります。そのため、学校・家庭・地域の連携・協働活動のより一層の充実を図るための体制を整備し、地域全体で子どもたちの成長を支えるとともに、地域住民の交流を通じて、地域の教育力向上と活性化を図ります。 | 平成20年度 家庭教育事業(子育て講座等)、放課後子ども教室推進事業開始<br>平成22年度 学校支援地域本部事業を開始<br>平成28年度 学校支援地域本部事業及び放課後子ども教室推進事業を市内全区に拡大完了、地域教育力向上事業(防災キャンプ)開始<br>令和4年度 学校支援地域本部の体制を基盤として地域学校協働本部へ発展 |

対象 (誰、何に対して働き掛けるのか) 手段 (03年度の取り組み)

地域住民、子ども、その保護者

- ・地域学校協働活動推進体制の整備
- ・学校支援活動(市内全中学校区での学習補助、学校行事等への支援活動)
- ・放課後子ども教室(全小学校での放課後の安全・安心な環境のもとでの様々な体験活動)
- ・家庭教育支援活動(親子による「星を見る会」の実施等)
- ・地域教育力向上(防災キャンプ等)
- 【子供への学習支援によるコミュニティ復興支援事業費補助金 県10/10】 【宮城県学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金 県2/3】 【東日本大震災復興基金繰入金】

意図 (対象をどのような状態にしたいのか)

学校・家庭・地域の連携・協働した取組が実施されることにより、児童・生徒の学校の授業だけでは得られない知識・経験・能力が向上するとともに、学校を核として地域全体の教育力向上及び地域の活性化が図られ、人と人、人とまちとがつながり、次代を担う子どもたちが健やかに成長することができています。

○指標、事業費の推移

| 区分   | 指標名                    | 単位     | 31年度 | 02年度 | 03年度   |
|------|------------------------|--------|------|------|--------|
|      |                        |        | 実績   | 実績   | 実績     |
| 対象指標 | A 児童・生徒数(5月1日現在)(共通指標) | 人      |      |      | 4,958  |
|      | B 多賀城市人口(共通指標)         | 人      |      |      | 61,890 |
| 活動指標 | C 地域学校協働活動実施回数         | 回      |      |      | 67     |
|      | D                      |        |      |      |        |
|      | E                      |        |      |      |        |
|      | F                      |        |      |      |        |
| 付記事項 |                        | 合計     | 千円   |      | 2,258  |
| 事業費  |                        | 国支出金   | 千円   |      |        |
|      |                        | 県支出金   | 千円   |      | 2,075  |
|      |                        | 地方債    | 千円   |      |        |
|      |                        | その他    | 千円   |      | 50     |
|      |                        | 一般財源   | 千円   |      | 133    |
|      |                        | 正職員人工数 | 人工   |      |        |
|      | 正職員人件費                 | 千円     |      |      | 11,600 |
|      | トータルコスト                | 千円     |      |      | 13,858 |

○これまでの取り組みの評価

事業状況  順調である 地域・学校等の担当者との会議の回数を増やし、連携を密にしたことから、新型コロナウイルス感染症の影響下においても各種事業を実施できたものの、同感染症の影響が続く中で、各種事業の回数や規模を縮小していることから、順調ではないと評価しています。  
 概ね順調である  
 順調ではない

上位貢献  貢献度は大 本事業により学校支援活動等を通して地域の人々が学校や児童・生徒への関わりを強め、それを契機として学校・家庭・地域の連携が高まり、学校を核として地域全体の教育力の向上と地域の活性化が期待できることから、上位貢献は大と考えています。  
 貢献度は中  
 貢献度は小

多賀城市・太宰府市中学生交流事業

担当部 教育委員会事務局  
 担当課 教育総務課  
 担当係 学校教育係

|                   |  |      |  |      |
|-------------------|--|------|--|------|
| 開始年度              | 終了年度                                     | 実施計画 | 重点テーマ  | 総合戦略 |
| 会計<br>款<br>項<br>目 | 01 一般会計<br>10 教育費<br>03 中学校費<br>02 教育振興費 |      | 政 策 03 夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり<br>施 策 02 学校教育の充実<br>基本事業 01 確かな学力の育成 |      |

|  |                             |
|--|-----------------------------|
| 事務事業の開始背景(根拠)、概要   | 事務事業の全体計画                   |
| 平成17年に友好都市締結を行った太宰府市の中学生が、平成29年度から「ふるさと・夢プロジェクト」の「ふるさと大使」として本市を訪れ、市内の中学校において授業体験を行うなど中学生同士の交流を図っています。<br>教育目標の一つである「多賀城を知り多賀城を語る児童生徒の育成」のため、本市の中学生が太宰府市を訪れ交流を図ります。 | 令和3年度～令和5年度 交流事業実施(太宰府市訪問等) |

|   |  |
|---|--|
| 対象(誰、何に対して働き掛けるのか)                                    | 手段(03年度の取り組み)  |
| 市立中学校に在籍する生徒  | 歴史的な関わりのある友好都市「太宰府市」の中学生とオンラインで交流<br>・事前に本市及び太宰府市の歴史や文化について学習<br>・本市及び太宰府市の郷土について理解と関心を深め、友情を育むため、中学生同士が交流<br>・本事業を通して学んだことを各学校ごとに、全校生徒へ報告<br>[新型コロナウイルス感染症による事業制限]<br>・太宰府市への訪問による交流について、オンラインに変更<br>【ふるさと多賀城応援基金繰入金】 |
| 意図(対象をどのような状態にしたいのか)                                  |  |
| まちの歴史や文化を国全体の視点でとらえる体験を通じて、両市の魅力や価値を知り、郷土愛を培うことができます。 |  |

○指標、事業費の推移

| 区分     | 指標名                 | 単位      | 31年度 | 02年度  | 03年度  |
|--------|---------------------|---------|------|-------|-------|
|        |                     |         | 実績   | 実績    | 実績    |
| 対象指標   | A 生徒数(5月1日現在)(共通指標) | 人       |      |       | 1,625 |
|        | B                   |         |      |       |       |
| 活動指標   | C 太宰府市を訪問した生徒数      | 人       |      |       | 0     |
|        | D                   |         |      |       |       |
|        | E                   |         |      |       |       |
|        | F                   |         |      |       |       |
| 付記事項   |                     | 合計      | 千円   |       | 50    |
|        | 事業費                 | 国支出金    | 千円   |       |       |
|        |                     | 県支出金    | 千円   |       |       |
|        |                     | 地方債     | 千円   |       |       |
|        |                     | その他     | 千円   |       | 50    |
|        |                     | 一般財源    | 千円   |       |       |
|        |                     | 正職員人工数  | 人工   |       |       |
| 正職員人件費 | 千円                  |         |      | 1,280 |       |
|        |                     | トータルコスト | 千円   |       | 1,330 |

○これまでの取り組みの評価

|      |  |  |
|------|--|--|
| 事業状況 | <input type="checkbox"/> 順調である<br><input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調である<br><input type="checkbox"/> 順調ではない | 新型コロナウイルス感染症の影響により、現地訪問はできませんでしたが、オンラインによる交流を実施することができたことから、概ね順調であると評価しています。 |
| 上位貢献 | <input type="checkbox"/> 貢献度は大<br><input checked="" type="checkbox"/> 貢献度は中<br><input type="checkbox"/> 貢献度は小    | 友好都市である太宰府市と本市の中学生の交流を深めることで、郷土に対する愛着心を育むことができているため、上位貢献は中と考えています。           |

たがじょう心のケア教育相談事業

担当部 教育委員会事務局  
 担当課 教育総務課  
 担当係 学校教育係

開始年度 終了年度 実施計画 ○ 重点テーマ ○ 総合戦略

|    |          |      |                          |
|----|----------|------|--------------------------|
| 会計 | 01 一般会計  | 政 策  | 03 夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり |
| 款  | 10 教育費   | 施 策  | 02 学校教育の充実               |
| 項  | 01 教育総務費 | 基本事業 | 02 豊かな心の育成               |
| 目  | 02 事務局費  |      |                          |

| 事務事業の開始背景（根拠）、概要  | 事務事業の全体計画  |
|---|--|
| 児童・生徒の悩みや不安、ストレスなどを受けとめ包括的に対応するため、子どもの心のケアハウスを中心とした支援ネットワークを構築し、ケアハウス支援員、スクールソーシャルワーカー及びスクールカウンセラーによる相談支援を行います。 | 平成9年度 スクールカウンセラー導入<br>平成10年度 心の教室相談員導入<br>平成22年度 スクールソーシャルワーカー導入<br>平成29年度 子どもの心のケアハウス設置(心の教室相談員をケアハウス支援員に変更)<br>令和4年度 子どもの心のケアハウスの運営を委託 |

対象（誰、何に対して働き掛けるのか） 手段（03年度の取り組み）

市内小中学校に通う児童・生徒、その保護者、教職員、次年度就学を予定している児童

- ・学校内におけるチーム体制の構築、支援
  - ・問題を抱える児童生徒への相談支援
  - ・関係機関等とのネットワークの構築、連携、調整
  - ・保護者、教職員等に対する支援、相談、情報提供
- 【みやぎ子どもの心のケアハウス運営支援事業費補助金 人件費のみ県10/10】  
 【県スクールソーシャルワーカー活用事業委託金 県10/10】

意図（対象をどのような状態にしたいのか）

児童・生徒に関する相談を受けることができる体制が構築され、子どもたちとその家庭が抱える問題・課題の早期発見・解決につながることで、次代を担う子どもたちが夢や希望をもって、安心して学校生活を送ることができています。

○指標、事業費の推移

| 区分   | 指標名                    | 単位      | 31年度 | 02年度 | 03年度   |
|------|------------------------|---------|------|------|--------|
|      |                        |         | 実績   | 実績   | 実績     |
| 対象指標 | A 児童・生徒数(5月1日現在)(共通指標) | 人       |      |      | 4,958  |
|      | B                      |         |      |      |        |
| 活動指標 | C ケアハウス通所児童・生徒数(延数)    | 人       |      |      | 197    |
|      | D 相談件数(延数)             | 件       |      |      | 1,097  |
|      | E アウトリーチ支援回数(令和4年度から)  | 回       |      |      | —      |
|      | F                      |         |      |      |        |
| 付記事項 |                        | 合計      | 千円   |      | 15,870 |
|      | 事業費                    | 国支出金    | 千円   |      |        |
|      |                        | 県支出金    | 千円   |      | 10,932 |
|      |                        | 地方債     | 千円   |      |        |
|      |                        | その他     | 千円   |      |        |
|      |                        | 一般財源    | 千円   |      | 4,938  |
|      |                        | 正職員人工数  | 人工   |      |        |
|      |                        | 正職員人件費  | 千円   |      | 8,000  |
|      |                        | トータルコスト | 千円   |      | 23,870 |

○これまでの取り組みの評価

|                                |   |  |
|--------------------------------|---|--|
| 事業状況                           | <input type="checkbox"/> 順調である              | スクールカウンセラーの全校配置、スクールソーシャルワーカーの派遣、子どもの心のケアハウス事業の運営により、児童・生徒や保護者、学校等の相談支援・必要な支援へつなげる体制を構築していることから、概ね順調であると評価しています。 |
|                                | <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調である |  |
| 上位貢献                           | <input type="checkbox"/> 順調ではない             |  |
|                                | <input type="checkbox"/> 貢献度は大              | 児童生徒やその家庭が抱える課題を必要な支援につなぎ、夢と希望をもち安心して学校生活を送ることができることから、上位貢献は中と考えています。  |
|                                | <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度は中   |  |
| <input type="checkbox"/> 貢献度は小 |   |  |

学校給食調理事業

担当部 教育委員会事務局  
 担当課 学校給食センター  
 担当係 学校給食センター

|                   |   |      |  |      |
|-------------------|---|------|--|------|
| 開始年度              | 終了年度  | 実施計画 | 重点テーマ  | 総合戦略 |
| 会計<br>款<br>項<br>目 | 01 一般会計<br>10 教育費<br>05 保健体育費<br>02 学校給食管理費 |      | 政 策 03 夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり<br>施 策 02 学校教育の充実<br>基本事業 03 健やかな体の育成 |      |

|  |  |
|--|--|
| 事務事業の開始背景(根拠)、概要                           | 事務事業の全体計画  |
| 学校給食法第8条により、学校給食実施基準に照らした適切な学校給食の提供を実施します。 | 平成27年度 経年劣化等により給食用食器を更新開始<br>平成30年度 小学校コースの給食用トレイ更新、食缶等順次更新開始<br>平成31年度 中学校コースの給食用トレイ、食缶等順次更新開始  |
| 対象(誰、何に対して働き掛けるのか)                         | 手段(03年度の取り組み)  |
| 市立学校の児童生徒                                  | ・専門業者(安全・安心な給食を提供するため、「学校給食衛生管理基準」と「大量調理衛生マニュアル」等の基準に基づく調理が実施できるもの)に外部委託によるセンター方式での給食調理の実施<br>・給食食材は、産地明示、鮮度良好及び衛生的な食材納品と製造・保管・納入等の衛生管理状況が確認できる事業者を選定(納入時に栄養士等が食材の検査確認等)<br>・可能な限り多賀城産品を選定し、郷土の食文化や旬の食材を取り入れる食材調達を実施<br>【学校給食費徴収金】 【電気等使用者実費徴収金】 |
| 意図(対象をどのような状態にしたいのか)                       |  |
| 適正な給食費のもと安全・安心で栄養バランスの取れた学校給食が提供されています。    |  |

○指標、事業費の推移

| 区分   | 指標名                    | 単位     | 31年度 | 02年度 | 03年度    |
|------|------------------------|--------|------|------|---------|
|      |                        |        | 実績   | 実績   | 実績      |
| 対象指標 | A 児童・生徒数(5月1日現在)(共通指標) | 人      |      |      | 4,958   |
|      | B                      |        |      |      |         |
| 活動指標 | C 食材の安全を確認した調達入札の実施    | 回      |      |      | 13      |
|      | D 給食調理従事者へ衛生講習の実施      | 回      |      |      | 3       |
|      | E 地場産品の使用割合            | %      |      |      | 12      |
|      | F                      |        |      |      |         |
| 付記事項 |                        | 合計     | 千円   |      | 442,863 |
|      | 事業費                    | 国支出金   | 千円   |      |         |
|      |                        | 県支出金   | 千円   |      |         |
|      |                        | 地方債    | 千円   |      |         |
|      |                        | その他    | 千円   |      | 279,416 |
|      |                        | 一般財源   | 千円   |      | 163,447 |
|      |                        | 正職員人工数 | 人工   |      |         |
|      | 正職員人件費                 | 千円     |      |      | 7,600   |
|      | トータルコスト                | 千円     |      |      | 450,463 |

○これまでの取り組みの評価

|                                |   |   |
|--------------------------------|---|---|
| 事業状況                           | <input type="checkbox"/> 順調である              | 天候不良等の影響から、地場産品の使用割合が例年よりも低くなりましたが、安全・安心で栄養バランスのとれた給食の提供を行えたことから、概ね順調であると評価しています。 |
|                                | <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調である |   |
| 上位貢献                           | <input type="checkbox"/> 順調ではない             |   |
|                                | <input type="checkbox"/> 貢献度は大              | 安全・安心で栄養バランスが取れた給食を提供することは、健やかな体の育成に必要であるため、上位貢献は中と考えています。                        |
|                                | <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度は中   |   |
| <input type="checkbox"/> 貢献度は小 |   |   |

## 小学校環境整備事業

担当部 教育委員会事務局  
 担当課 教育総務課  
 担当係 教育総務係

開始年度 終了年度 実施計画 ○ 重点テーマ 総合戦略

|    |          |  |
|----|----------|--|
| 会計 | 01 一般会計  | 政 策 03 夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり<br>施 策 02 学校教育の充実<br>基本事業 04 教育環境の保全と運営 |
| 款  | 10 教育費   |  |
| 項  | 02 小学校費  |  |
| 目  | 01 学校管理費 |  |

| 事務事業の開始背景(根拠)、概要  | 事務事業の全体計画   |
|---|---|
| 【この事務事業は、学校環境整備事業[小学校]及び[各小学校]を合わせた事業です。】<br>小学校の設置者である多賀城市は、校舎等の施設の環境の整備を実施し、不具合のない教育環境を確保する必要があります。<br>令和2年度に策定した公立学校施設長寿命化計画に基づき、計画的な学校環境の整備を行います。 | 令和2年度 公立学校施設長寿命化計画策定<br>令和2・3年度 小学校大規模改造(トイレ)工事(繰越)<br>、小学校図書館エアコン整備工事(繰越)<br>令和3年度 AED更新<br>令和4年度 特別支援学級エアコン設置工事(多賀城東小学校、多賀城八幡小学校)、多賀城小学校暖房機設置工事 |

| 対象(誰、何に対して働き掛けるのか)                      | 手段(03年度の取り組み)  |
|---|--|
| 市立小学校の学校施設、児童、教職員                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・耐用年数を超過したAEDの更新</li> <li>・山王小学校普通教室改修工事</li> <li>・多賀城東小学校給水管更新工事</li> </ul>                                      |
| 意図(対象をどのような状態にしたいのか)                    | 令和2年度繰越事業<br>・小学校大規模改造(トイレ)工事<br>・図書館エアコン整備工事<br>【学校施設環境改善交付金 国1/3】<br>【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 国】<br>【防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債 充当率100%】<br>【学校施設整備事業債 充当率75%】 |
| 教育環境が適切に維持管理されることで、安心な学校生活を送ることができています。 |  |

### ○指標、事業費の推移

| 区分   | 指標名                 | 単位      | 31年度 | 02年度 | 03年度    |
|------|---------------------|---------|------|------|---------|
|      |                     |         | 実績   | 実績   | 実績      |
| 対象指標 | A 児童数(5月1日現在)(共通指標) | 人       |      |      | 3,333   |
|      | B 小学校数              | 校       |      |      | 6       |
| 活動指標 | C 環境整備件数            | 件       |      |      | 3       |
|      | D                   |         |      |      |         |
|      | E                   |         |      |      |         |
|      | F                   |         |      |      |         |
| 付記事項 |                     | 合計      | 千円   |      | 488,325 |
|      |                     | 国支出金    | 千円   |      | 193,444 |
|      |                     | 県支出金    | 千円   |      |         |
|      |                     | 地方債     | 千円   |      | 224,342 |
|      |                     | その他     | 千円   |      | 49,729  |
|      |                     | 一般財源    | 千円   |      | 20,810  |
|      |                     | 正職員人工数  | 人工   |      | 0.25    |
|      |                     | 正職員人件費  | 千円   |      | 2,000   |
|      |                     | トータルコスト | 千円   |      | 490,325 |

### ○これまでの取り組みの評価

|      |  |   |
|------|--|---|
| 事業状況 | <input type="checkbox"/> 順調である<br><input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調である<br><input type="checkbox"/> 順調ではない | 計画的に学校環境の整備を行っていることから、概ね順調であると評価しています。                    |
| 上位貢献 | <input type="checkbox"/> 貢献度は大<br><input checked="" type="checkbox"/> 貢献度は中<br><input type="checkbox"/> 貢献度は小    | 学校環境の整備を行うことにより、児童が安心して学校生活を送ることができていることから、上位貢献は中と考えています。 |

## 中学校環境整備事業

担当部 教育委員会事務局  
 担当課 教育総務課  
 担当係 教育総務係

開始年度 終了年度 実施計画 ○ 重点テーマ 総合戦略

|                   |  |                    |   |
|-------------------|--|--------------------|---|
| 会計<br>款<br>項<br>目 | 01 一般会計<br>10 教育費<br>03 中学校費<br>01 学校管理費 | 政 策<br>施 策<br>基本事業 | 03 夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり<br>02 学校教育の充実<br>04 教育環境の保全と運営 |
|-------------------|--|--------------------|---|

|   |   |
|---|---|
| <p><b>事務事業の開始背景（根拠）、概要</b></p> <p>【この事務事業は、学校環境整備事業[中学校]及び[各中学校]を合わせた事業です。】<br/>                 中学校の設置者である多賀城市は、校舎等の施設の環境の整備を実施し、不具合のない教育環境を確保する必要があります。<br/>                 令和2年度に策定した公立学校施設長寿命化計画に基づき、計画的な学校環境の整備を行います。</p> | <p><b>事務事業の全体計画</b></p> <p>令和2年度 公立学校施設長寿命化計画策定<br/>                 令和2・3年度 中学校大規模改造(トイレ)工事(繰越)<br/>                 、中学校図書館エアコン整備工事(繰越)</p>   |
| <p><b>対象（誰、何に対して働き掛けるのか）</b></p> <p>市立中学校の学校施設、生徒、教職員</p>   | <p><b>手段（03年度の取り組み）</b></p> <p>令和2年度繰越事業<br/>                 ・中学校大規模改造(トイレ)工事<br/>                 ・図書館エアコン整備工事<br/>                 【学校施設環境改善交付金 国1/3】<br/>                 【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 国】<br/>                 【学校施設整備事業債 充当率75%】</p> |
| <p><b>意図（対象をどのような状態にしたいのか）</b></p> <p>教育環境が適切に維持管理されることで、安心な学校生活を送ることができています。</p>   |   |

### ○指標、事業費の推移

| 区分   | 指標名                 | 単位   | 31年度 | 02年度 | 03年度    |
|------|---------------------|------|------|------|---------|
|      |                     |      | 実績   | 実績   | 実績      |
| 対象指標 | A 生徒数(5月1日現在)(共通指標) | 人    |      |      | 1,625   |
|      | B 中学校数              | 校    |      |      | 4       |
| 活動指標 | C 環境整備件数            | 件    |      |      | 2       |
|      | D                   |      |      |      |         |
|      | E                   |      |      |      |         |
|      | F                   |      |      |      |         |
| 付記事項 |                     |      |      |      |         |
|      | 事業費                 | 合計   | 千円   |      | 231,248 |
|      |                     | 国支出金 | 千円   |      | 159,006 |
|      |                     | 県支出金 | 千円   |      |         |
|      |                     | 地方債  | 千円   |      | 32,058  |
|      |                     | その他  | 千円   |      | 40,184  |
|      |                     | 一般財源 | 千円   |      |         |
|      | 正職員人工数              | 人工   |      |      | 0.25    |
|      | 正職員人件費              | 千円   |      |      | 2,000   |
|      | トータルコスト             | 千円   |      |      | 233,248 |

### ○これまでの取り組みの評価

|      |  |   |
|------|--|---|
| 事業状況 | <input type="checkbox"/> 順調である<br><input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調である<br><input type="checkbox"/> 順調ではない | 計画的に学校環境の整備を行っていることから、概ね順調であると評価しています。                    |
| 上位貢献 | <input type="checkbox"/> 貢献度は大<br><input checked="" type="checkbox"/> 貢献度は中<br><input type="checkbox"/> 貢献度は小    | 学校環境の整備を行うことにより、生徒が安心して学校生活を送ることができていることから、上位貢献は中と考えています。 |



小中学校通学区域適正化事業

担当部 教育委員会事務局  
 担当課 教育総務課  
 担当係 学校教育係

開始年度 終了年度 実施計画 ○ 重点テーマ ○ 総合戦略

|                   |  |                    |   |
|-------------------|--|--------------------|---|
| 会計<br>款<br>項<br>目 | 01 一般会計<br>10 教育費<br>01 教育総務費<br>02 事務局費 | 政 策<br>施 策<br>基本事業 | 03 夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり<br>02 学校教育の充実<br>04 教育環境の保全と運営 |
|-------------------|--|--------------------|---|

|   |   |
|---|---|
| <p><b>事務事業の開始背景（根拠）、概要</b></p> <p>周辺環境の変化に応じた適切な通学距離と安全確保を念頭に、通学区域の再編について、調査・研究を進めていきます。</p>                      | <p><b>事務事業の全体計画</b></p> <p>平成25年度 学区検討会議の開催(4回。再編不要の決定)<br/>                 平成29年度 人口流動及び土地利用状況調査、意見交換会の開催(1回。再編不要の決定)<br/>                 令和3年度 人口流動及び土地利用状況調査、庁内検討会議の開催<br/>                 令和4年度 小中学校区検討会議の開催</p> |
| <p><b>対象（誰、何に対して働き掛けるのか）</b></p> <p>市立小中学校に通う児童・生徒、次年度就学を予定している児童、その保護者</p>                                       | <p><b>手段（03年度の取り組み）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口動向や土地利用状況など通学区域の適正化に関する情報収集</li> <li>・庁内関係課と通学区域の適正化に関する調査・研究を行う庁内検討会議を開催</li> </ul>  |
| <p><b>意図（対象をどのような状態にしたいのか）</b></p> <p>通学時における適正な通学距離と安全が確保されることにより、子どもたちが安心して学ぶことのできる環境が保たれ、心豊かに学び、育つことができます。</p> |   |

○指標、事業費の推移

| 区分     | 指標名                    | 単位      | 31年度 | 02年度  | 03年度  |
|--------|------------------------|---------|------|-------|-------|
|        |                        |         | 実績   | 実績    | 実績    |
| 対象指標   | A 児童・生徒数(5月1日現在)(共通指標) | 人       |      |       | 4,958 |
|        | B 新小学校1年生の児童の数(5月1日現在) | 人       |      |       | 548   |
| 活動指標   | C 庁内関係課との協議回数          | 回       |      |       | 2     |
|        | D 小中学校区検討会議の実施回数       | 回       |      |       | —     |
|        | E                      |         |      |       |       |
|        | F                      |         |      |       |       |
| 付記事項   |                        | 合計      | 千円   |       | 0     |
| 事業費    | 国支出金                   | 千円      |      |       |       |
|        | 県支出金                   | 千円      |      |       |       |
|        | 地方債                    | 千円      |      |       |       |
|        | その他                    | 千円      |      |       |       |
|        | 一般財源                   | 千円      |      |       | 0     |
|        | 正職員人工数                 | 人工      |      |       | 0.45  |
| 正職員人件費 | 千円                     |         |      | 3,600 |       |
|        |                        | トータルコスト | 千円   |       | 3,600 |

○これまでの取り組みの評価

|      |  |  |
|------|--|--|
| 事業状況 | <input type="checkbox"/> 順調である<br><input type="checkbox"/> 概ね順調である<br><input checked="" type="checkbox"/> 順調ではない | 本市は、市民の転出・転入の件数が非常に多く、住宅地の小規模開発も増加しており、児童・生徒数の適切な予測が難しい現状があり、通学区域の適正化を図るための検証や、学校、保護者等への説明及び調整などに多くの時間を要する見込みであることから、順調ではないと評価しています。 |
| 上位貢献 | <input type="checkbox"/> 貢献度は大<br><input checked="" type="checkbox"/> 貢献度は中<br><input type="checkbox"/> 貢献度は小    | 各小中学校の通学路について適正な距離と安全が確保されることで、子どもたちが安心して学ぶことができる環境が保たれることから、上位貢献は中と考えています。  |

小学校学校施設維持管理事業

担当部 教育委員会事務局  
 担当課 教育総務課  
 担当係 教育総務係

開始年度 終了年度 実施計画 ○ 重点テーマ 総合戦略

|                   |  |                    |   |
|-------------------|--|--------------------|---|
| 会計<br>款<br>項<br>目 | 01 一般会計<br>10 教育費<br>02 小学校費<br>01 学校管理費 | 政 策<br>施 策<br>基本事業 | 03 夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり<br>02 学校教育の充実<br>04 教育環境の保全と運営 |
|-------------------|--|--------------------|---|

| 事務事業の開始背景（根拠）、概要   | 事務事業の全体計画                       |
|--|---------------------------------|
| <p>【この事務事業は、学校施設維持管理事業[小学校]と学校施設維持管理事業[各小学校6校]を合わせた事業です。】<br/>                 小学校の設置者である市は、校舎等の施設整備等を実施し、教育環境の充実に努めなければなりません。</p> | <p>児童が、快適に学習できるよう環境維持を図ります。</p> |

| 対象（誰、何に対して働き掛けるのか）                     | 手段（03年度の取り組み）   |
|--|---|
| <p>市内小学校の学校施設、児童、教職員</p>               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校施設の適切な維持管理のため、光熱水費、施設修繕、各種保守点検、機械警備、除草業務、樹木剪定等を実施</li> <li>・山王小学校普通教室改修工事に伴う机・椅子等の施設整備</li> <li>【公衆電話料・建物共済保険料・学校開放に伴う施設整備維持徴収金】</li> <li>令和2年度繰越事業                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染予防用消耗品購入</li> <li>【学校保健特別対策事業費補助金 国1/2】</li> <li>【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 国】</li> </ul> </li> </ul> |
| 意図（対象をどのような状態にしたいのか）                   |   |
| <p>児童が、適切に維持管理された教育環境で学ぶことができています。</p> |   |

○指標、事業費の推移

| 区分   | 指標名                 | 単位      | 31年度 | 02年度 | 03年度    |
|------|---------------------|---------|------|------|---------|
|      |                     |         | 実績   | 実績   | 実績      |
| 対象指標 | A 小学校数              | 校       |      |      | 6       |
|      | B 児童数(5月1日現在)(共通指標) | 人       |      |      | 3,333   |
| 活動指標 | C 施設修繕件数            | 件       |      |      | 151     |
|      | D 保守点検委託件数          | 件       |      |      | 5       |
|      | E 業務委託件数            | 件       |      |      | 18      |
|      | F                   |         |      |      |         |
| 付記事項 |                     | 合計      | 千円   |      | 175,501 |
|      |                     | 国支出金    | 千円   |      | 1,900   |
|      |                     | 県支出金    | 千円   |      |         |
|      |                     | 地方債     | 千円   |      |         |
|      |                     | その他     | 千円   |      | 8,470   |
|      |                     | 一般財源    | 千円   |      | 165,131 |
|      |                     | 正職員人工数  | 人工   |      | 0.25    |
|      |                     | 正職員人件費  | 千円   |      | 2,000   |
|      |                     | トータルコスト | 千円   |      | 177,501 |

○これまでの取り組みの評価

|                                |   |   |
|--------------------------------|---|---|
| 事業状況                           | <input type="checkbox"/> 順調である              | 適切な学校の維持管理は行えているものの、施設の老朽化が進んでいることにより修繕箇所が増えているため、順調ではないと評価しています。 |
|                                | <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調である |   |
| 上位貢献                           | <input type="checkbox"/> 順調ではない             |   |
|                                | <input type="checkbox"/> 貢献度は大              | 学校環境の保全を行うことにより、生徒が安心して学校生活を送ることができることから、上位貢献は中と考えています。           |
|                                | <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度は中   |   |
| <input type="checkbox"/> 貢献度は小 |   |   |

学校ICT整備事業 [小学校]

担当部 教育委員会事務局  
 担当課 教育総務課  
 担当係 教育総務係

開始年度 終了年度 実施計画 ○ 重点テーマ ○ 総合戦略

|    |          |      |                          |
|----|----------|------|--------------------------|
| 会計 | 01 一般会計  |      |                          |
| 款  | 10 教育費   | 政 策  | 03 夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり |
| 項  | 02 小学校費  | 施 策  | 02 学校教育の充実               |
| 目  | 02 教育振興費 | 基本事業 | 04 教育環境の保全と運営            |

| 事務事業の開始背景(根拠)、概要  | 事務事業の全体計画   |
|---|---|
| 教育の情報化を推進するため、政府において平成31年度に「GIGAスクール構想」に基づく学校のICT環境整備の推進、教員のICT活用指導力の向上等に取り組んでいます。<br>児童が情報社会に主体的に対応できる「情報活用能力」を身につけ、更なる学力向上につなげます。 | 平成27～30年度 校務支援システム・PC各校順次導入<br>平成31年度 文部科学省「GIGAスクール構想」開始<br>令和2年度 GIGAスクール構想に基づく児童生徒用端末及びICT機器の整備、校内無線LANネットワーク導入<br>令和3年度 生徒用端末、校内無線LAN本格運用<br>令和4年度 タブレット用印刷機の導入、校外学習用Wi-Fiルーターの整備、ICT支援員の配置 |

対象(誰、何に対して働き掛けるのか) 手段(03年度の取り組み)

小学校、児童

意図(対象をどのような状態にしたいのか)

ICTを活用して、児童が情報社会に主体的に取り組む教育環境が整うことにより、子どもたちが、地域社会で豊かに生きるための学びを得て、夢や希望を持つことができます。

- ・教育クラウドアプリケーション:学習での活用
- ・Wi-Fi環境:安定した通信環境とセキュリティ確保のための適正な保守管理
- ・端末(児童、教職員用):学習での活用、適正な保守管理
- ・ソフトウェア:新たに導入するアプリケーションの教職員研修、プログラミング教育の研修、従前から利用しているデジタル教科書の継続活用

○指標、事業費の推移

| 区分   | 指標名                    | 単位      | 31年度 | 02年度 | 03年度    |
|------|------------------------|---------|------|------|---------|
|      |                        |         | 実績   | 実績   | 実績      |
| 対象指標 | A 小学校数                 | 校       |      |      | 6       |
|      | B 児童数(5月1日現在)(共通指標)    | 人       |      |      | 3,333   |
| 活動指標 | C 授業及び学校生活に支障を来した不具合件数 | 件       |      |      | 0       |
|      | D 教育用パソコン配備台数          | 台       |      |      | 3,660   |
|      | E                      |         |      |      |         |
|      | F                      |         |      |      |         |
| 付記事項 |                        | 合計      | 千円   |      | 106,768 |
|      | 事業費                    | 国支出金    | 千円   |      |         |
|      |                        | 県支出金    | 千円   |      |         |
|      |                        | 地方債     | 千円   |      |         |
|      |                        | その他     | 千円   |      |         |
|      |                        | 一般財源    | 千円   |      | 106,768 |
|      |                        | 正職員人工数  | 人工   |      |         |
|      |                        | 正職員人件費  | 千円   |      | 2,800   |
|      |                        | トータルコスト | 千円   |      | 109,568 |

○これまでの取り組みの評価

|      |   |  |
|------|---|--|
| 事業状況 | <input type="checkbox"/> 順調である              |  |
|      | <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調である | 授業等へ支障がないように、計画的に整備を実施していることから、概ね順調であると評価しています。                              |
| 上位貢献 | <input type="checkbox"/> 貢献度は大              |  |
|      | <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度は中   | 全国と同一水準の適切な学びの環境が整うことにより、児童が1人1台のタブレット端末を活用し学習に取り組むことができることから、上位貢献は中と考えています。 |
|      | <input type="checkbox"/> 貢献度は小              |  |

学校ICT整備事業 [中学校]

担当部 教育委員会事務局  
 担当課 教育総務課  
 担当係 教育総務係

開始年度 終了年度 実施計画 ○ 重点テーマ ○ 総合戦略

|    |          |      |                          |
|----|----------|------|--------------------------|
| 会計 | 01 一般会計  |      |                          |
| 款  | 10 教育費   | 政 策  | 03 夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり |
| 項  | 03 中学校費  | 施 策  | 02 学校教育の充実               |
| 目  | 02 教育振興費 | 基本事業 | 04 教育環境の保全と運営            |

| 事務事業の開始背景(根拠)、概要  | 事務事業の全体計画   |
|---|---|
| 教育の情報化を推進するため、政府において平成31年度に「GIGAスクール構想」に基づく学校のICT環境整備の推進、教員のICT活用指導力の向上等に取り組んでいます。<br>生徒が情報社会に主体的に対応できる「情報活用能力」を身につけ、更なる学力向上につなげます。 | 平成27～30年度 校務支援システム・PC各校順次導入<br>平成31年度 文部科学省「GIGAスクール構想」開始<br>令和2年度 GIGAスクール構想に基づく児童生徒用端末及びICT機器の整備、校内無線LANネットワーク導入<br>令和3年度 生徒用端末、校内無線LAN本格運用<br>令和4年度 タブレット用印刷機の導入、校外学習用Wi-Fiルーターの整備、ICT支援員の配置   |
| 対象(誰、何に対して働き掛けるのか)  | 手段(03年度の取り組み)   |
| 中学校、生徒  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育クラウドアプリケーション:学習での活用</li> <li>・Wi-Fi環境:安定した通信環境とセキュリティ確保のための適正な保守管理</li> <li>・端末(生徒、教職員用):学習での活用、適正な保守管理</li> <li>・ソフトウェア:新たに導入するアプリケーションの教職員研修、プログラミング教育の研修、従前から利用しているデジタル教科書の継続活用</li> </ul> |
| 意図(対象をどのような状態にしたいのか)  |   |
| ICTを活用して、生徒が情報社会に主体的に取り組む教育環境が整うことにより、子どもたちが、地域社会で豊かに生きるための学びを得て、夢や希望を持つことができます。  |   |

○指標、事業費の推移

| 区分   | 指標名                    | 単位      | 31年度 | 02年度 | 03年度   |
|------|------------------------|---------|------|------|--------|
|      |                        |         | 実績   | 実績   | 実績     |
| 対象指標 | A 中学校数                 | 校       |      |      | 4      |
|      | B 生徒数(5月1日現在)(共通指標)    | 人       |      |      | 1,625  |
| 活動指標 | C 授業及び学校生活に支障を来した不具合件数 | 件       |      |      | 0      |
|      | D 教育用パソコン配備台数          | 台       |      |      | 1,821  |
|      | E                      |         |      |      |        |
|      | F                      |         |      |      |        |
| 付記事項 |                        | 合計      | 千円   |      | 53,083 |
|      |                        | 事業費     |      |      |        |
|      |                        | 国支出金    | 千円   |      |        |
|      |                        | 県支出金    | 千円   |      |        |
|      |                        | 地方債     | 千円   |      |        |
|      |                        | その他     | 千円   |      |        |
|      |                        | 一般財源    | 千円   |      | 53,083 |
|      |                        | 正職員人工数  | 人工   |      | 0.35   |
|      |                        | 正職員人件費  | 千円   |      | 2,800  |
|      |                        | トータルコスト | 千円   |      | 55,883 |

○これまでの取り組みの評価

|      |   |  |
|------|---|--|
| 事業状況 | <input type="checkbox"/> 順調である              |  |
|      | <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調である | 授業等へ支障がないように、計画的に整備を実施していることから、概ね順調であると評価しています。                              |
| 上位貢献 | <input type="checkbox"/> 貢献度は大              |  |
|      | <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度は中   | 全国と同一水準の適切な学びの環境が整うことにより、生徒が1人1台のタブレット端末を活用し学習に取り組むことができることから、上位貢献は中と考えています。 |
|      | <input type="checkbox"/> 貢献度は小              |  |

地域とともにある学校づくり事業 (コミュニティ・スクール事業)

担当部 教育委員会事務局  
 担当課 教育総務課  
 担当係 学校教育係

開始年度 終了年度 実施計画 ○ 重点テーマ ○ 総合戦略

|    |          |      |                          |
|----|----------|------|--------------------------|
| 会計 | 01 一般会計  |      |                          |
| 款  | 10 教育費   | 政 策  | 03 夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり |
| 項  | 01 教育総務費 | 施 策  | 02 学校教育の充実               |
| 目  | 02 事務局費  | 基本事業 | 04 教育環境の保全と運営            |

| 事務事業の開始背景 (根拠)、概要  | 事務事業の全体計画   |
|--|---|
| 国は、平成29年度、それまでの「地域に開かれた学校」から「地域とともにある学校」への移行を提唱しました。また、保護者や地域住民が学校運営に参画する仕組みである学校運営協議会(コミュニティ・スクール)の設置が努力義務化されました。学校運営協議会を設置し、地域と学校が連携・協働し、地域住民等の参画により地域全体で子どもたちを支える仕組みづくりを行います。 | 令和3年度 関係者の研修、協議、検討<br>令和4年度 学校運営協議会準備会の設置<br>令和5年度 学校運営協議会の設置 |

| 対象 (誰、何に対して働き掛けるのか)   | 手段 (03年度の取り組み)  |
|---|---|
| 市民、教職員、市内の児童・生徒、地域ぐるみ生徒指導委員会、学校評議員  | ・研修会の実施<br>・コミュニティ・スクール先進地視察<br>・関係者、PTA等との協議<br>・先進導入校の検討・決定<br>【子供への学習支援によるコミュニティ復興支援事業費補助金 県10/10】 |
| 意図 (対象をどのような状態にしたいのか)   |   |
| 学校運営に保護者や地域住民が参画し、地域と一体となった特色ある学校づくりが行われることにより、みんなの力で、次代を担う子どもたちが成長し、人と人、人とまちとがつながることができています。 |   |

○指標、事業費の推移

| 区分   | 指標名                     | 単位   | 31年度 | 02年度 | 03年度   |
|------|-------------------------|------|------|------|--------|
|      |                         |      | 実績   | 実績   | 実績     |
| 対象指標 | A 多賀城市人口 (共通指標)         | 人    |      |      | 61,890 |
|      | B 児童・生徒数(5月1日現在) (共通指標) | 人    |      |      | 4,958  |
| 活動指標 | C 研修会、ワークショップ等実施回数      | 回    |      |      | 3      |
|      | D 学校運営協議会(準備会)開催回数      | 回    |      |      | —      |
|      | E                       |      |      |      |        |
|      | F                       |      |      |      |        |
| 付記事項 |                         |      |      |      |        |
|      | 事業費                     | 合計   | 千円   |      | 173    |
|      |                         | 国支出金 | 千円   |      |        |
|      |                         | 県支出金 | 千円   |      | 92     |
|      |                         | 地方債  | 千円   |      |        |
|      |                         | その他  | 千円   |      |        |
|      |                         | 一般財源 | 千円   |      | 81     |
|      | 正職員人工数                  | 人工   |      |      | 0.26   |
|      | 正職員人件費                  | 千円   |      |      | 2,080  |
|      | トータルコスト                 | 千円   |      |      | 2,253  |

○これまでの取り組みの評価

|      |   |  |
|------|---|--|
| 事業状況 | <input type="checkbox"/> 順調である              |  |
|      | <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調である | 学校運営協議会の設置に向けて、研修や視察を実施し検証を重ねていることから、概ね順調であると評価しています。                          |
| 上位貢献 | <input type="checkbox"/> 貢献度は大              |  |
|      | <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度は中   | 学校の運営に地域住民等が参画し、地域と一体となった特色ある学校運営を行うことで、次代を担う子どもたちを育むことができることから、上位貢献は中と考えています。 |
|      | <input type="checkbox"/> 貢献度は小              |  |

文化センター管理運営事業

担当部 教育委員会事務局  
 担当課 生涯学習課  
 担当係 生涯学習係

|                   |   |      |   |      |
|-------------------|---|------|---|------|
| 開始年度              | 終了年度  | 実施計画 | 重点テーマ   | 総合戦略 |
| 会計<br>款<br>項<br>目 | 01 一般会計<br>10 教育費<br>04 社会教育費<br>02 社会教育振興費 |      | 政 策<br>施 策<br>基本事業  |      |
|                   |   |      | 03 夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり<br>03 生涯学習の促進<br>03 生涯学習施設の保全と運営 |      |

|  |  |
|--|--|
| 事務事業の開始背景（根拠）、概要   | 事務事業の全体計画  |
| 昭和62年の開館以来、市直営で管理運営を行ってき<br>ましたが、民間企業が有するネットワークやノウ<br>ハウを活用し、市民に対するサービス向上を目的に指<br>定管理者制度を導入しました。 | 平成22年6月 市民会館、中央公民館及び埋文センタ<br>ーの設置条例を改正<br>平成23年度 指定管理者による管理運営を開始<br>第1期 平成23年4月1日から平成28年3月31日まで<br>第2期 平成28年4月1日から令和3年3月31日まで<br>第3期 令和3年4月1日から令和8年3月31日まで   |
| 対象（誰、何に対して働き掛けるのか）   | 手段（03年度の取り組み）  |
| ・市民<br>・文化センター   | ○指定管理者制度を導入し、民間企業が有するネッ<br>トワークやノウハウを活用し、芸術文化の振興と施<br>設の適切な維持管理を実施<br>[指定管理者が行う業務]<br>・文化センターの運営及び施設・設備等の維持管理<br>・市民会館及び中央公民館の施設・設備等の利用貸出<br>・芸術文化事業の実施<br>[指定管理者の名称]<br>JM共同事業体(株式会社JTBコミュニケーションデザ<br>イン・三菱電機ビルソリューションズ株式会社)<br>【公立社会教育施設災害復旧費補助金 国2/3】<br>○令和4年福島県沖地震等に係る災害復旧工事の実施 |
| 意図（対象をどのような状態にしたいのか）   |  |
| 人生を豊かに生きるため、文化センター等において<br>、多様な文化芸術に触れることができ、また、様々<br>な文化活動を行うことができています。                         |  |

○指標、事業費の推移

| 区分     | 指標名             | 単位      | 31年度 | 02年度  | 03年度    |
|--------|-----------------|---------|------|-------|---------|
|        |                 |         | 実績   | 実績    | 実績      |
| 対象指標   | A 多賀城市人口(共通指標)  | 人       |      |       | 61,890  |
|        | B               |         |      |       |         |
| 活動指標   | C 開館日数          | 日       |      |       | 295     |
|        | D 貸室提供数         | 室       |      |       | 24      |
|        | E 市民会館の自主・共催事業数 | 事業      |      |       | 48      |
|        | F               |         |      |       |         |
| 付記事項   |                 | 合計      | 千円   |       | 143,632 |
|        | 事業費             | 国支出金    | 千円   |       | 507     |
|        |                 | 県支出金    | 千円   |       |         |
|        |                 | 地方債     | 千円   |       |         |
|        |                 | その他     | 千円   |       |         |
|        |                 | 一般財源    | 千円   |       | 143,125 |
|        |                 | 正職員人工数  | 人工   |       |         |
| 正職員人件費 | 千円              |         |      | 3,600 |         |
|        |                 | トータルコスト | 千円   |       | 147,232 |

○これまでの取り組みの評価

|      |  |  |
|------|--|--|
| 事業状況 | <input type="checkbox"/> 順調である<br><input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調である<br><input type="checkbox"/> 順調ではない | 新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の一部が中止となっていますが、感染症対策を行うとともに、施設の新たな活用方法を工夫して、多くの事業を実施していることから、概ね順調であると評価しています。 |
| 上位貢献 | <input type="checkbox"/> 貢献度は大<br><input checked="" type="checkbox"/> 貢献度は中<br><input type="checkbox"/> 貢献度は小    | 市民会館での事業開催により、市民が良質な文化芸術に触れ、発表の機会や場が確保されることで多彩な生涯学習活動を行うことができることから、上位貢献は中と考えています。                  |

文化センター改修事業

担当部 教育委員会事務局  
 担当課 生涯学習課  
 担当係 生涯学習係

開始年度 終了年度 実施計画 ○ 重点テーマ 総合戦略 ○

|    |            |      |                          |
|----|------------|------|--------------------------|
| 会計 | 01 一般会計    |      |                          |
| 款  | 10 教育費     | 政 策  | 03 夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり |
| 項  | 04 社会教育費   | 施 策  | 03 生涯学習の促進               |
| 目  | 02 社会教育振興費 | 基本事業 | 03 生涯学習施設の保全と運営          |

| 事務事業の開始背景(根拠)、概要  | 事務事業の全体計画  |
|---|--|
| 昭和62年に開館した文化センターも30年以上経過し、施設の老朽化が進むとともに、機械設備や舞台設備等の多くが機器の更新時期にも達していることから、計画的に整備する必要があります。多賀城創建1300年を迎えるに当たって文化交流拠点として、また、災害時の避難所としての機能強化を図ることが求められています。 | 大規模改修計画に先立ち、大ホール側の施設設備等を中心とした改修、更新を行います。<br>令和3年8月 改修設計業務委託<br>令和4年5月 改修工事開始 |

| 対象(誰、何に対して働き掛けるのか)       | 手段(03年度の取り組み)  |
|--------------------------|--|
| 文化センター(施設・設備)            | ・文化センター改修設計業務委託<br>(令和3年8月20日～令和4年1月31日)<br>・アスベスト事前調査業務委託<br>(令和3年7月1日～同年7月30日)<br>・アスベスト調査業務委託<br>(令和3年10月28日～同年11月30日)<br>【地方創生推進交付金 国1/2】<br>【社会教育施設整備事業債 充当率90%】<br>【教育施設及び文化施設管理基金繰入金】 |
| 意図(対象をどのような状態にしたいのか)     |  |
| 文化センターが安全・快適な状態に保たれています。 |  |

○指標、事業費の推移

| 区分   | 指標名         | 単位      | 31年度 | 02年度 | 03年度   |
|------|-------------|---------|------|------|--------|
|      |             |         | 実績   | 実績   | 実績     |
| 対象指標 | A 文化センター    | 施設      |      |      | 1      |
|      | B           |         |      |      |        |
| 活動指標 | C 業務委託・修繕件数 | 件       |      |      | 3      |
|      | D 工事件数      | 件       |      |      | 0      |
|      | E           |         |      |      |        |
|      | F           |         |      |      |        |
| 付記事項 |             | 合計      | 千円   |      | 7,889  |
|      | 事業費         | 国支出金    | 千円   |      | 3,944  |
|      |             | 県支出金    | 千円   |      |        |
|      |             | 地方債     | 千円   |      | 3,500  |
|      |             | その他     | 千円   |      | 445    |
|      |             | 一般財源    | 千円   |      |        |
|      |             | 正職員人工数  | 人工   |      |        |
|      |             | 正職員人件費  | 千円   |      | 7,200  |
|      |             | トータルコスト | 千円   |      | 15,089 |

○これまでの取り組みの評価

|      |  |
|------|--|
| 事業状況 | <input checked="" type="checkbox"/> 順調である<br><input type="checkbox"/> 概ね順調である 令和3年度に予定していた改修設計業務は計画どおり完了したことから、順調であると評価しています。<br><input type="checkbox"/> 順調ではない             |
|      | <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度は大<br><input type="checkbox"/> 貢献度は中 施設が安全で快適な状態に保たれることで、市民会館の各種事業が円滑に開催できるようになることから、上位貢献は大と考えています。<br><input type="checkbox"/> 貢献度は小 |

市立図書館管理運営事業

担当部 教育委員会事務局  
 担当課 生涯学習課  
 担当係 生涯学習係

|                   |   |      |  |      |
|-------------------|---|------|--|------|
| 開始年度              | 終了年度  | 実施計画 | 重点テーマ  | 総合戦略 |
| 会計<br>款<br>項<br>目 | 01 一般会計<br>10 教育費<br>04 社会教育費<br>02 社会教育振興費 |      | 政 策 03 夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり<br>施 策 03 生涯学習の促進<br>基本事業 03 生涯学習施設の保全と運営 |      |

|  |  |  |  |
|--|--|--|--|
| 事務事業の開始背景(根拠)、概要   |  | 事務事業の全体計画  |  |
| 昭和53年の開館以来、市直営で管理運営を行ってきました。施設の老朽化、市民に対するサービス向上(民間事業者が有するネットワークやノウハウの活用)へ対応するため、平成28年3月にJR仙石線多賀城駅前に移転開館し、指定管理者制度を導入しました。 |  | 平成28年3月 指定管理者管理による運営業務開始<br>第1期 平成28年3月21日から令和2年3月31日まで<br>第2期 令和2年4月1日から令和7年3月31日まで<br>令和4年4月 ブックスタートを開始              |  |
| 対象(誰、何に対して働き掛けるのか)   |  | 手段(03年度の取り組み)  |  |
| 市民   |  | 指定管理者制度の導入により、民間企業が有するネットワークやノウハウを活用し、読書活動の推進と施設の適切な維持管理を実施  |  |
| 意図(対象をどのような状態にしたいのか)   |  | [指定管理者が行う業務]<br>・図書館の管理運営に関する業務<br>・施設及び設備の維持管理に関する業務<br>・図書館の事業及び講座に関する業務<br><br>[指定管理者の名称]<br>・カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社 |  |
| 図書館が多くの子市民の知との出会いの場として認識され、多様な楽しみ方のできる場として利用され、親しまれています。   |  |  |  |

○指標、事業費の推移

| 区分     | 指標名            | 単位      | 31年度 | 02年度   | 03年度    |
|--------|----------------|---------|------|--------|---------|
|        |                |         | 実績   | 実績     | 実績      |
| 対象指標   | A 多賀城市人口(共通指標) | 人       |      |        | 61,890  |
|        | B              |         |      |        |         |
| 活動指標   | C 開館日数         | 日       |      |        | 363     |
|        | D 事業及び講座の開催回数  | 回       |      |        | 186     |
|        | E              |         |      |        |         |
|        | F              |         |      |        |         |
| 付記事項   |                | 合計      | 千円   |        | 306,227 |
|        | 事業費            | 国支出金    | 千円   |        |         |
|        |                | 県支出金    | 千円   |        |         |
|        |                | 地方債     | 千円   |        |         |
|        |                | その他     | 千円   |        |         |
|        |                | 一般財源    | 千円   |        | 306,227 |
|        |                | 正職員人工数  | 人工   |        |         |
| 正職員人件費 | 千円             |         |      | 13,600 |         |
|        |                | トータルコスト | 千円   |        | 319,827 |

○これまでの取り組みの評価

|      |  |  |
|------|--|--|
| 事業状況 | <input type="checkbox"/> 順調である<br><input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調である<br><input type="checkbox"/> 順調ではない | 令和2年度と比較して、図書貸出数、利用人数は復調傾向にあります。イベントの実施数も計画値を超えていることから、概ね順調であると評価しています。                |
| 上位貢献 | <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度は大<br><input type="checkbox"/> 貢献度は中<br><input type="checkbox"/> 貢献度は小    | 市立図書館が適切に維持管理され、民間企業が有するネットワークやノウハウを活用した運営がなされることで、市民が多く学びを得ることができることから、上位貢献は大と考えています。 |



大代地区公民館改修事業

担当部 教育委員会事務局  
 担当課 生涯学習課  
 担当係 生涯学習係

開始年度 R03 終了年度 実施計画 ○ 重点テーマ 総合戦略

|    |          |      |                          |
|----|----------|------|--------------------------|
| 会計 | 01 一般会計  | 政 策  | 03 夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり |
| 款  | 10 教育費   | 施 策  | 03 生涯学習の促進               |
| 項  | 04 社会教育費 | 基本事業 | 03 生涯学習施設の保全と運営          |
| 目  | 03 公民館費  |      |                          |

|  |  |   |  |
|--|--|---|--|
| 事務事業の開始背景（根拠）、概要                           |  | 事務事業の全体計画   |  |
| 大代公民館が、公民館機能を十分に発揮するために、施設の状態の整備を実施します。    |  | 令和3年度 体育室天井照明LED化更新工事<br>令和4年度 屋上塔屋タラップ修繕工事                         |  |
| 対象（誰、何に対して働き掛けるのか）                         |  | 手段（03年度の取り組み）   |  |
| 大代地区公民館（施設・設備）                             |  | 公民館体育室天井照明LED化更新工事（18灯）<br>（令和3年9月24日～同年12月28日）<br><br>【みやぎ環境交付金 県】 |  |
| 意図（対象をどのような状態にしたいのか）                       |  |   |  |
| 施設・設備が適切に改修・修繕されることで、安全・安心に利用できる状態になっています。 |  |   |  |

○指標、事業費の推移

| 区分   | 指標名         | 単位      | 31年度 | 02年度 | 03年度  |
|------|-------------|---------|------|------|-------|
|      |             |         | 実績   | 実績   | 実績    |
| 対象指標 | A 大代地区公民館   | 施設      |      |      | 1     |
|      | B           |         |      |      |       |
| 活動指標 | C 業務委託・修繕件数 | 件       |      |      | 1     |
|      | D 工事件数      | 件       |      |      | 0     |
|      | E           |         |      |      |       |
|      | F           |         |      |      |       |
| 付記事項 |             | 合計      | 千円   |      | 3,068 |
|      | 事業費         | 国支出金    | 千円   |      |       |
|      |             | 県支出金    | 千円   |      | 550   |
|      |             | 地方債     | 千円   |      |       |
|      |             | その他     | 千円   |      |       |
|      |             | 一般財源    | 千円   |      | 2,518 |
|      |             | 正職員人工数  | 人工   |      |       |
|      |             | 正職員人件費  | 千円   |      | 400   |
|      |             | トータルコスト | 千円   |      | 3,468 |

○これまでの取り組みの評価

|      |  |   |
|------|--|---|
| 事業状況 | <input checked="" type="checkbox"/> 順調である<br><input type="checkbox"/> 概ね順調である<br><input type="checkbox"/> 順調ではない | 令和3年度に予定していた工事は計画どおり完了したことから、順調であると評価しています。                   |
|      | <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度は大<br><input type="checkbox"/> 貢献度は中<br><input type="checkbox"/> 貢献度は小    | 施設が安全で快適な状態に保たれることで、公民館の各種事業が円滑に開催できるようになることから、上位貢献は大と考えています。 |

## 東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業

担当部 教育委員会事務局  
 担当課 生涯学習課  
 担当係 社会教育係

開始年度 H31 終了年度 R03 実施計画 ○ 重点テーマ ○ 総合戦略

|    |            |      |                          |
|----|------------|------|--------------------------|
| 会計 | 01 一般会計    | 政 策  | 03 夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり |
| 款  | 10 教育費     | 施 策  | 04 市民スポーツ社会の促進           |
| 項  | 05 保健体育費   | 基本事業 | 01 スポーツ機会の確保             |
| 目  | 01 保健体育総務費 |      |                          |

| 事務事業の開始背景（根拠）、概要  | 事務事業の全体計画  |
|---|--|
| <p>[聖火リレー]オリンピック競技大会に向けた気運を日本全国で高めるために、全47都道府県で聖火リレーが実施されます。宮城県では、本市を含めた被災沿岸自治体を中心に実施されます。</p> <p>[ホストタウン]キューバ共和国野球代表チームが本選出場となった場合、同国と交流のある仙台育英学園並びに仙台市及び本市が合同で同代表チームの事前合宿を受け入れます。</p> | <p>[平成31年度]キューバ共和国と事前合宿受入れの協定締結、仙台市と共にホストタウンの登録、仙台市・仙台育英学園等と実行委員会設立、バレーボールの元キューバ共和国代表選手を招きトークショー及びクリニックを開催</p> <p>[令和3年度(令和2年度から延期)]聖火リレーの実施</p>   |
| 対象（誰、何に対して働き掛けるのか）  | 手段（03年度の取り組み）  |
| <p>市民</p>   | <p>[聖火リレー]<br/>                 令和3年3月25日に福島県をスタートし、同年7月23日の東京都を目指して、全国47都道府県を聖火ランナーが走行</p> <p>①多賀城市走行日 令和3年6月20日(日)</p> <p>②走行場所<br/>                 JR仙石線多賀城駅北口広場から宮城県東北歴史博物館まで(ランナー数17人)</p> <p>【東京2020大会へ向けた気運醸成事業等補助金 県1/2】</p> <p>【東日本大震災復興基金繰入金】</p> |
| 意図（対象をどのような状態にしたいのか）  |  |
| <p>オリンピック・パラリンピックの気運が高まり、市民が世界レベルのスポーツに触れることにより、スポーツの楽しさや感動を分かち合いながら、幅広い世代での交流が図られています。</p>   |  |

### ○指標、事業費の推移

| 区分     | 指標名              | 単位      | 31年度 | 02年度  | 03年度   |
|--------|------------------|---------|------|-------|--------|
|        |                  |         | 実績   | 実績    | 実績     |
| 対象指標   | A 多賀城市人口(共通指標)   | 人       |      |       | 61,890 |
|        | B                |         |      |       |        |
| 活動指標   | C 聖火リレーに係る事業進捗率  | %       |      |       | 100    |
|        | D ホストタウン交流事業数    | 件       |      |       | 0      |
|        | E ホストタウン交流事業参加者数 | 人       |      |       | 0      |
|        | F                |         |      |       |        |
| 付記事項   |                  | 合計      | 千円   |       | 795    |
| 事業費    | 国支出金             | 千円      |      |       |        |
|        | 県支出金             | 千円      |      |       | 292    |
|        | 地方債              | 千円      |      |       |        |
|        | その他              | 千円      |      |       | 503    |
|        | 一般財源             | 千円      |      |       |        |
|        | 正職員人工数           | 人工      |      |       | 0.45   |
| 正職員人件費 | 千円               |         |      | 3,600 |        |
|        |                  | トータルコスト | 千円   |       | 4,395  |

### ○これまでの取り組みの評価

|      |  |   |
|------|--|---|
| 事業状況 | <input checked="" type="checkbox"/> 順調である<br><input type="checkbox"/> 概ね順調である<br><input type="checkbox"/> 順調ではない | <p>ホストタウン交流事業については、ホストタウン相手国が大会出場権を逃し、交流事業を実施できませんでしたが、聖火リレーについては、計画通り事業を実施できたことから、順調であると評価しています。</p> |
| 上位貢献 | <input type="checkbox"/> 貢献度は大<br><input type="checkbox"/> 貢献度は中<br><input checked="" type="checkbox"/> 貢献度は小    | <p>スポーツへの興味関心を高めるための有効な機会とはなったものの、時限的な事業であり、効果期間が極めて短かったことから、上位貢献は小と考えています。</p>                       |

埋蔵文化財調査受託事業 (大区画ほ場整備促進事業)

担当部 教育委員会事務局  
 担当課 埋蔵文化財調査センター  
 担当係 埋蔵文化財調査センター

開始年度 H27 終了年度 R04 実施計画 ○ 重点テーマ 総合戦略

|    |                 |      |                          |
|----|-----------------|------|--------------------------|
| 会計 | 01 一般会計         | 政 策  | 03 夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり |
| 款  | 10 教育費          | 施 策  | 05 文化財の保護と活用             |
| 項  | 04 社会教育費        | 基本事業 | 01 文化財の調査・保存の推進          |
| 目  | 06 埋蔵文化財調査センター費 |      |                          |

| 事務事業の開始背景 (根拠)、概要   | 事務事業の全体計画  |
|---|--|
| ほ場整備地内には山王遺跡など8か所の埋蔵文化財包蔵地が所在しており、ほ場整備事業により影響を受ける約53,000㎡を対象に、平成27年度に事業主体である宮城県仙台地方振興事務所と発掘調査に係る協定書を締結しました。これに基づき、各年度毎に受託契約を締結し、記録保存のための調査を実施しています。 | 調査面積:約67,400㎡(工事設計変更等による増)<br>調査期間:平成27～令和2年度(現地調査)<br>整理期間:令和2～4年度(資料整理及び報告書作成)<br>調査実績<br>平成27年度:約11,300㎡、平成28年度:約16,500㎡<br>平成29年度:約18,300㎡、平成30年度:約12,500㎡<br>平成31年度:約7,200㎡、令和2年度:約1,600㎡ |
| 対象 (誰、何に対して働き掛けるのか)   | 手段 (03年度の取り組み)   |
| 大区画ほ場整備計画地内に所在する埋蔵文化財包蔵地(特別史跡を除く)   | 令和2年度繰越事業<br>発掘調査報告書の作成  |
| 意図 (対象をどのような状態にしたいのか)   | 【埋蔵文化財発掘調査受託金10/10】<br>※令和4年度へ繰越   |
| 大区画ほ場整備事業が行われる範囲の埋蔵文化財が適切に記録保存されています。   |  |

○指標、事業費の推移

| 区分   | 指標名       | 単位   | 31年度   | 02年度   | 03年度   |
|------|-----------|------|--------|--------|--------|
|      |           |      | 実績     | 実績     | 実績     |
| 対象指標 | A 調査面積    | ㎡    | 67,400 | 67,400 | 67,400 |
|      | B 報告書頁数   | 頁    | —      | —      | —      |
| 活動指標 | C 調査面積の累計 | ㎡    | 65,800 | 67,400 | 67,400 |
|      | D 作成頁数の累計 | 頁    | —      | —      | —      |
|      | E         |      |        |        |        |
|      | F         |      |        |        |        |
| 付記事項 |           | 合計   | 千円     |        | 24,718 |
|      | 事業費       | 国支出金 | 千円     |        |        |
|      |           | 県支出金 | 千円     |        |        |
|      |           | 地方債  | 千円     |        |        |
|      |           | その他  | 千円     |        | 24,718 |
|      |           | 一般財源 | 千円     |        |        |
|      | 正職員人工数    | 人工   |        |        | 0.85   |
|      | 正職員人件費    | 千円   |        |        | 6,800  |
|      | トータルコスト   | 千円   |        |        | 31,518 |

○これまでの取り組みの評価

|      |  |  |
|------|--|--|
| 事業状況 | <input type="checkbox"/> 順調である             |  |
|      | <input type="checkbox"/> 概ね順調である           | 現地調査は令和2年度に終了しましたが、膨大な調査成果をまとめた発掘調査報告書の作成に時間を要し繰越で対応していることから、順調ではないと評価しています。 |
|      | <input checked="" type="checkbox"/> 順調ではない |  |
| 上位貢献 | <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度は大  |  |
|      | <input type="checkbox"/> 貢献度は中             | 面積が広大なほ場整備事業に伴う遺跡調査とその発掘調査の結果を報告することにより、                                     |
|      | <input type="checkbox"/> 貢献度は小             | 、当市の文化財が適切に記録保存されていることから、上位貢献は大と考えています。                                      |

特別史跡多賀城跡復元整備事業

担当部 教育委員会事務局  
 担当課 文化財課  
 担当係 文化財係

開始年度 終了年度 実施計画 ○ 重点テーマ ○ 総合戦略

|    |           |      |                          |
|----|-----------|------|--------------------------|
| 会計 | 01 一般会計   | 政 策  | 03 夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり |
| 款  | 10 教育費    | 施 策  | 05 文化財の保護と活用             |
| 項  | 04 社会教育費  | 基本事業 | 02 文化財の活用促進              |
| 目  | 04 文化財保護費 |      |                          |

| 事務事業の開始背景（根拠）、概要                      | 事務事業の全体計画   |
|---------------------------------------|---|
| 多賀城創建1300年を迎える令和6年に向けて多賀城南門等の復元を行います。 | 平成29・30年度 周辺整備等の検討及び実施設計、多賀城南門及び周辺地区整備・活用基本方針策定<br>平成31～令和5年度 地形修復造成工事、南門復元工事、築地塀復元工事、政庁北端部地区整備<br>令和6年度 公開開始 |

対象（誰、何に対して働き掛けるのか） 手段（03年度の取り組み）

特別史跡多賀城跡附寺跡

- ・文化庁等関係機関と協議、関連事業との調整等実施
- ・南門復元工事、地形修復工事(造成、令和4年度へ繰越)、記録映像制作業務、復元検討委員会の開催、築地塀復元実施設計その2、復元工事監理  
 <令和2年度繰越事業>
- ・瓦製造業務、南門復元工事
- ・地形修復工事(造成)、ガイダンス施設実施設計
- 【歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業 国1/2】  
 【文化財整備活用事業債 充当率90%】 【東日本大震災復興基金繰入金】 【多賀城南門等復元事業等基金繰入金】 【史跡のまち基金繰入金】

意図（対象をどのような状態にしたいのか）

多賀城南門等が復元されることにより、多賀城ならではの個性となり、人々の交流が促され、市民の誇りの拠り所であるとともに多賀城らしい魅力の発信拠点となっています。

○指標、事業費の推移

| 区分   | 指標名             | 単位     | 31年度 | 02年度   | 03年度    |
|------|-----------------|--------|------|--------|---------|
|      |                 |        | 実績   | 実績     | 実績      |
| 対象指標 | A 特別史跡多賀城跡附寺跡面積 | ha     |      |        | 107.68  |
|      | B               |        |      |        |         |
| 活動指標 | C 検討委員会議の開催回数   | 回      |      |        | 1       |
|      | D 事業進捗率         | %      |      |        | 54.29   |
|      | E               |        |      |        |         |
|      | F               |        |      |        |         |
| 付記事項 |                 | 合計     | 千円   |        | 317,192 |
|      | 事業費             | 国支出金   | 千円   |        | 155,477 |
|      |                 | 県支出金   | 千円   |        |         |
|      |                 | 地方債    | 千円   |        | 138,600 |
|      |                 | その他    | 千円   |        | 23,115  |
|      |                 | 一般財源   | 千円   |        |         |
|      |                 | 正職員人工数 | 人工   |        |         |
|      | 正職員人件費          | 千円     |      | 14,000 |         |
|      | トータルコスト         | 千円     |      |        | 331,192 |

○これまでの取り組みの評価

事業状況  順調である  概ね順調である  順調ではない  
 文化庁補助金の採択額により進める事業ですが、国の予算の際など機会を捉えた申請によって一定の採択額を得られ、施行していることから、概ね順調であると評価しています。

上位貢献  貢献度は大  貢献度は中  貢献度は小  
 南門等を復元し一般公開することにより、市民の文化財保護及び継承の意識が高まるとともに、まちづくりへの有効活用が図られることで市民が歴史と文化を身近に感じる機会が増えることから、上位貢献は大と考えています。

地域とともにある学校づくり事業 (民俗芸能体験事業)

担当部 教育委員会事務局  
 担当課 文化財課  
 担当係 文化財係

開始年度 終了年度 実施計画 ○ 重点テーマ ○ 総合戦略

|    |           |      |                          |
|----|-----------|------|--------------------------|
| 会計 | 01 一般会計   | 政 策  | 03 夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり |
| 款  | 10 教育費    | 施 策  | 05 文化財の保護と活用             |
| 項  | 04 社会教育費  | 基本事業 | 03 文化財の普及啓発              |
| 目  | 04 文化財保護費 |      |                          |

| 事務事業の開始背景 (根拠)、概要   | 事務事業の全体計画  |
|---|--|
| 民俗芸能である多賀城鹿踊は、明治26年には中谷地地区の人々によって踊られていました。昭和54年11月、市制施行10周年を記念して、多賀城鹿踊の復活と併せて多賀城太鼓が創作されました。これらの保存会は、子どもから大人までの幅広い年代で構成され定期的な練習・発表等を行っています。補助金を交付することで、こうした活動を支援します。 | 明治26年 中谷地地区の人々が多賀城鹿踊を踊る様子が八幡神社境内の石碑に刻まれる。<br>昭和54年 多賀城鹿踊の復活及び多賀城太鼓創作<br>平成23年度 多賀城八幡小学校3学年の「総合的な学習の時間」の中で多賀城鹿踊の体験学習を開始 |

対象 (誰、何に対して働き掛けるのか) 手段 (03年度の取り組み)

多賀城鹿踊保存会、多賀城太鼓保存会、児童・生徒、地域住民

・多賀城鹿踊保存会及び多賀城太鼓保存会の活動を支援するための補助金交付  
 ・普及啓発活動

意図 (対象をどのような状態にしたいのか)

民俗芸能である多賀城鹿踊及び郷土芸能である多賀城太鼓が次代を担う子どもたちに保存継承されることにより、先人から受け継がれてきた多賀城の個性を感じ、人と人とのつながりが意識され、豊かに表現されることで、多賀城らしい魅力を創ることができています。

[多賀城鹿踊保存会の活動]  
 ・多賀城八幡小学校3学年の「総合的な学習の時間」内で多賀城鹿踊の体験学習を支援  
 [多賀城太鼓保存会の活動]  
 ・市内各種イベント等における多賀城太鼓の演舞披露

○指標、事業費の推移

| 区分     | 指標名                      | 単位      | 31年度 | 02年度  | 03年度   |
|--------|--------------------------|---------|------|-------|--------|
|        |                          |         | 実績   | 実績    | 実績     |
| 対象指標   | A 多賀城市人口 (共通指標)          | 人       |      |       | 61,890 |
|        | B 児童・生徒数 (5月1日現在) (共通指標) | 人       |      |       | 4,958  |
| 活動指標   | C 多賀城鹿踊保存会補助金額 (活動支援)    | 千円      |      |       | 191    |
|        | D 多賀城太鼓保存会補助金額 (活動支援)    | 千円      |      |       | 191    |
|        | E 多賀城鹿踊保存会の活動回数          | 回       |      |       | 4      |
|        | F 多賀城太鼓保存会の活動回数          | 回       |      |       | 7      |
| 付記事項   |                          | 合計      | 千円   |       | 360    |
| 事業費    | 国支出金                     | 千円      |      |       |        |
|        | 県支出金                     | 千円      |      |       |        |
|        | 地方債                      | 千円      |      |       |        |
|        | その他                      | 千円      |      |       |        |
|        | 一般財源                     | 千円      |      |       | 360    |
|        | 正職員人工数                   | 人工      |      |       | 0.2    |
| 正職員人件費 | 千円                       |         |      | 1,600 |        |
|        |                          | トータルコスト | 千円   |       | 1,960  |

○これまでの取り組みの評価

事業状況  順調である  概ね順調である  順調ではない

学校や地域と連携し、普及・啓発を行い、担い手を確保することが必要であり、会員の高齢化、後継者不足が課題となっていることから、順調ではないと評価しています。

上位貢献  貢献度は大  貢献度は中  貢献度は小

多賀城鹿踊保存会及び多賀城太鼓保存会の活動を支援することにより、各種イベント等で披露する機会の増加に繋がり、次代を担う子どもたちの関心が高まり、民俗・郷土芸能が継承されることが予想されることから、上位貢献は中と考えています。

歴史遺産保全・発信事業

担当部 教育委員会事務局  
 担当課 埋蔵文化財調査センター  
 担当係 埋蔵文化財調査センター

|                   |  |                    |   |       |   |      |
|-------------------|--|--------------------|---|-------|---|------|
| 開始年度              | 終了年度   | 実施計画               | ○   | 重点テーマ | ○ | 総合戦略 |
| 会計<br>款<br>項<br>目 | 01 一般会計<br>10 教育費<br>04 社会教育費<br>06 埋蔵文化財調査センター費 | 政 策<br>施 策<br>基本事業 | 03 夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり<br>05 文化財の保護と活用<br>03 文化財の普及啓発 |       |   |      |

| 事務事業の開始背景(根拠)、概要  | 事務事業の全体計画  |
|---|--|
| 多賀城市の歴史、文化財に対する関心を高め、歴史資産を適切に後世に伝えるために、これまで行ってきた様々な調査をいかし、常設展示や歴史講座の開催、刊行物の作成を行います。 | 昭和62～平成13年度 多賀城市の通史を展示<br>平成2年度 講座事業開始<br>平成14年度 常設展示を「古代都市多賀城」テーマ展示に転換(東北歴史博物館との役割分担から)<br>平成19年度 埋蔵文化財調査センター体験館(多賀城史遊館)を開館し、体験学習を開始<br>令和3～6年度 多賀城創建1300年に向けた連続企画展実施 |

| 対象(誰、何に対して働き掛けるのか)   | 手段(03年度の取り組み)   |
|--|---|
| 市内の歴史遺産、多賀城市民、多賀城市の歴史に関心のある方   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「多賀城市の文化財」を刊行</li> <li>・企画展、記念講演会を開催(多賀城創建1300年に向けた連続企画の第1弾)</li> <li>・速報展、遺跡調査報告会、写真展及び資料展を開催</li> <li>・歴史講座(全4回)を開催</li> <li>・多賀城史遊館で通常の歴史体験学習に加え、歴史関連のイベントを開催</li> <li>・「多賀城市の歴史遺産 市川村 浮島村」「多賀城市の歴史遺産-補遺-総括編-」を刊行</li> <li>【国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金 国1/2】 【ふるさと多賀城応援基金繰入金】 【町誌市史等売払】 【体験学習・歴史講座実費徴収金】</li> </ul> |
| 意図(対象をどのような状態にしたいのか)   |   |
| 地域と行政が一体となって、文化財が適切に保存管理され、文化財の普及・啓発がなされることにより、人と人との温かな輪の中で、本市の悠久の歴史が紐解かれ、観光や産業振興等の礎として新たな価値が生まれ、多賀城らしい魅力を創ることができています。 |   |

○指標、事業費の推移

| 区分   | 指標名            | 単位      | 31年度 | 02年度 | 03年度   |
|------|----------------|---------|------|------|--------|
|      |                |         | 実績   | 実績   | 実績     |
| 対象指標 | A 多賀城市人口(共通指標) | 人       |      |      | 61,890 |
|      | B              |         |      |      |        |
| 活動指標 | C 展示室の開館日数     | 日       |      |      | 277    |
|      | D 体験館の開館日数     | 日       |      |      | 281    |
|      | E 展示室の入館者数(年間) | 人       |      |      | 3,290  |
|      | F 体験館の入館者数(年間) | 人       |      |      | 1,205  |
| 付記事項 |                | 合計      | 千円   |      | 8,721  |
|      |                | 国支出金    | 千円   |      | 1,034  |
|      |                | 県支出金    | 千円   |      |        |
|      |                | 地方債     | 千円   |      |        |
|      |                | その他     | 千円   |      | 7,621  |
|      |                | 一般財源    | 千円   |      | 66     |
|      |                | 正職員人工数  | 人工   |      | 1.8    |
|      |                | 正職員人件費  | 千円   |      | 14,400 |
|      |                | トータルコスト | 千円   |      | 23,121 |

○これまでの取り組みの評価

|      |  |  |
|------|--|--|
| 事業状況 | <input type="checkbox"/> 順調である<br><input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調である<br><input type="checkbox"/> 順調ではない | 令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響から、入館者数が伸び悩んでいるものの、常設展に加え、4つの期間限定展示を滞りなく実施し、企画展・写真展の来館者アンケートにおいても良い評価を得ていることから、概ね順調であると評価しています。 |
| 上位貢献 | <input type="checkbox"/> 貢献度は大<br><input checked="" type="checkbox"/> 貢献度は中<br><input type="checkbox"/> 貢献度は小    | 市民が親しみやすい展示や魅力ある刊行物の発行、子どもたちが参加できる歴史体験イベントなどの継続により、文化財に対する関心が徐々に高まることから、上位貢献は中と考えています。                               |

特別史跡多賀城跡附寺跡保存活用計画策定事業

担当部 教育委員会事務局  
 担当課 文化財課  
 担当係 文化財係

開始年度 終了年度 実施計画 ○ 重点テーマ ○ 総合戦略

|    |           |      |                          |
|----|-----------|------|--------------------------|
| 会計 | 01 一般会計   | 政 策  | 03 夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり |
| 款  | 10 教育費    | 施 策  | 05 文化財の保護と活用             |
| 項  | 04 社会教育費  | 基本事業 | 99 施策の総合推進               |
| 目  | 04 文化財保護費 |      |                          |

| 事務事業の開始背景（根拠）、概要  | 事務事業の全体計画   |
|---|---|
| 特別史跡多賀城跡附寺跡が、文化的価値が保存され、地域住民と共存・共栄しながら、市民が親しみ、利用できる場所となることを目指し、適正な管理・活用の指針となる計画として、「特別史跡多賀城跡附寺跡保存管理計画」をこれまで第3次にわたり策定してきました。第3次計画が計画満了を迎えることから、次期計画の策定を進めています。 | [特別史跡多賀城跡附寺跡保存管理計画]<br>・第1次計画期間 S51～S62<br>・第2次計画期間 S63～H22<br>・第3次計画期間 H23～R4<br>[特別史跡多賀城跡附寺跡保存活用計画]<br>R2～R4 計画策定<br>R5～ 計画運用 |

| 対象（誰、何に対して働き掛けるのか）   | 手段（03年度の取り組み）  |
|--|--|
| 特別史跡多賀城跡附寺跡保存活用計画  | ・基本構想素案の検討<br>・市川地区まちづくり会議開催(10月)<br><br>[新型コロナウイルス感染症による事業制限]<br>3回開催を予定していた市川地区まちづくり会議を、1回のみ開催 |
| 意図（対象をどのような状態にしたいのか）   |  |
| 特別史跡多賀城跡附寺跡の保存・活用等の取組に係る基本的事項を計画に定め、計画を推進することにより、特別史跡を活用した多賀城らしい魅力が発信されるとともに、本市固有の歴史文化を次代に引き継ぐことができています。 |  |

○指標、事業費の推移

| 区分   | 指標名             | 単位      | 31年度 | 02年度 | 03年度   |
|------|-----------------|---------|------|------|--------|
|      |                 |         | 実績   | 実績   | 実績     |
| 対象指標 | A 特別史跡多賀城跡附寺跡面積 | ha      |      |      | 107.68 |
|      | B               |         |      |      |        |
| 活動指標 | C 委員会開催回数       | 回       |      |      | 0      |
|      | D 計画策定数         | 本       |      |      | —      |
|      | E               |         |      |      |        |
|      | F               |         |      |      |        |
| 付記事項 |                 | 合計      | 千円   |      | 0      |
|      |                 | 事業費     | 国支出金 | 千円   |        |
|      |                 | 県支出金    | 千円   |      |        |
|      |                 | 地方債     | 千円   |      |        |
|      |                 | その他     | 千円   |      |        |
|      |                 | 一般財源    | 千円   | 0    |        |
|      |                 | 正職員人工数  | 人工   |      | 0.2    |
|      |                 | 正職員人件費  | 千円   |      | 1,600  |
|      |                 | トータルコスト | 千円   |      | 1,600  |

○これまでの取り組みの評価

|      |   |  |
|------|---|--|
| 事業状況 | <input type="checkbox"/> 順調である              | 新型コロナウイルス感染症の影響により、計画策定の第一歩である意見交換が十分に行えておらず、計画策定を延伸していることから、順調ではないと評価しています。 |
|      | <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調である |  |
| 上位貢献 | <input checked="" type="checkbox"/> 順調ではない  | 当該計画策定により特別史跡の保存・活用の推進が図られ、本市固有の歴史文化が次代に引き継がれることから、上位貢献は大と考えています。            |
|      | <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度は大   |  |
|      | <input type="checkbox"/> 貢献度は中              |  |
|      | <input type="checkbox"/> 貢献度は小              |  |





### Ⅲ 学識経験者の意見



## 令和3年度教育委員会の点検及び評価に対する意見

元多賀城市立山王小学校長 當麻 哲 氏

### 1 学校・家庭・地域の連携による教育力の向上について

学校・家庭・地域の連携・協働での取組は、児童・生徒の学校では得られない知識、経験、能力が向上すると共に、地域のよさや郷土愛を育むものでもあり地域教育力の向上につながるものである。したがって、地域学校協働活動事業を推進していることはとても意義深いことである。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により、各種事業の回数が減ったり、縮小されたりしているとはいえ、児童・生徒が地域住民から学ぶことができていると感じている割合が低下していることはとても残念なことである。（まちづくり報告書の結果から）今後は、ウィズコロナ・アフターコロナを踏まえて事業内容を見直し、さらに事業を推し進めていくことを期待したい。

また、今後は、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と共にある学校づくりを進めるための仕組み「コミュニティースクール」へと移行することになると思われることから、この動きに対応できるよう着実な取組を進めていってほしい。

### 2 学校教育の充実について

学校施設の整備として、普通教室等のエアコンの設置やICT環境の整備、学校トイレの洋式化工事などを計画的に進めていることは、児童生徒や教職員にとって安全で快適な学校環境となっていることであり喜ばしいことである。しかし、老朽化が進んでいる学校も多いことから適切に修繕を施し、安全な学校施設の維持管理に努めていただきたい。

学校ICT整備事業が着実に進められていることは児童生徒が情報活用能力を身につけ、学力の向上につながるものだが、情報端末を有効活用して充実した授業が展開できるようにするためには、指導者の育成や教職員の指導力向上に向けた研修を充実させることは必要不可欠である。

「学校が楽しい」「授業がよく分かる」と答えた児童生徒は、80%以上と高い割合であることは喜ばしいことではあるが、その反面、不登校の割合は全国平均を上回っている。引き続き、学び支援教室、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、子どもの心のケアハウス等が密接に連携した対策を取ることと、心配される児童生徒と保護者へは早期の支

援を行い、教員への不登校対応等の研修も充実させることを期待したい。

### **3 生涯学習の推進について**

新型コロナウイルス感染症の影響により、市民会館をはじめ、生涯学習施設の利用者が減少していたが、感染症対策や施設の新たな活用方法などを工夫して多くの事業を実施できるようになったことから、利用者が増加に転じたことは大変喜ばしいことである。しかし、70歳以上の世代の施設の利用は減少していることから、高齢者も安心して利用できるように、コロナ感染対策を施しながら、より魅力的な事業を展開し、学び続けることのできる機会の場合、文化芸術の振興の場として、市民へのサービス向上を目指して進めてほしい。

### **4 市民スポーツ社会の推進について**

やはり新型コロナウイルス感染症の影響により、社会体育事業の開催が減少し、施設の利用者数も減少していることは残念ではあるが、市民がスポーツに親しむことができる環境を提供することは、心身の健康の保持・増進を促し、人と人との交流にもつながることであることから、感染対策を十分に行い、多様なスポーツ事業を開催するなどして施設の利用促進を図ってほしい。

オリンピック・パラリンピックが1年延期され、新型コロナウイルス感染症の影響も心配される中、聖火リレーを計画通りに実施できたことは喜ばしいことである。

### **5 文化財の保護と活用について**

多賀城跡復元整備事業が順調に進んでいることはとても喜ばしいことである。復元される南門を含め特別史跡周辺一帯を多賀城跡として整備することを期待している。そして、整備事業だけでなく市の歴史や文化などについても市民だけではなく県内外の多くの人にも知ってもらうために、PR活動に力を入れ、多賀城の魅力をたくさん発信してほしい。

多賀城の歴史・文化・まちについて学ぶ機会を増やし、市の文化財を次世代に継承していくことの大切さを市民に理解していただくような取り組みや、郷土愛を育む教育を推進していくことを期待したい。

## 6 総括的意見について

令和3年度も新型コロナウイルスは収束することはなく、その影響がある中、学校教育、生涯学習、市民スポーツ、芸術や文化等のさまざまな事業をコロナ対策をしっかりと取りながら計画的に取り組んでいただいたことに感謝するとともに敬意を表したい。

コロナ感染症については、「新しい生活様式」が提唱され、影響が長期化することも懸念されることから、「ウィズコロナ」の社会、新型コロナウイルスと共に生きることを念頭に、新型コロナウイルスの時代に即した新たな事業の取り組みに期待したい。



## 令和3年度教育委員会の点検及び評価に対する意見

元多賀城市立高崎中学校長 横橋 健 氏

### 1 学校・家庭・地域の連携による教育力の向上について

順調ではないとの評価であるが、コロナというパンデミックの下、感染に気を付けながら実施してきたことは評価したい。特に、防災キャンプが大代地区で、コロナ禍でも実施されたことは素晴らしい。

学校支援地域本部を発展させ地域学校共同本部の設置により、より多くの地域の方が学校にかかわりともに子どもたちの教育を進めていけると思われる。

放課後の子どもたちの活動も制限されている中、子ども教室が成果を上げている。

ぜひ、東小・八幡小でも実施をすることを検討して欲しい。

### 2 学校教育の充実について

確かな学力が小学校で微減、中学校でやや増加しており、学校生活を楽しいと思う割合と連動している様子が見受けられる。学校生活が楽しいかどうかは友人関係が大きなウエイトを占めることは想像出来るが、一方、学校生活の7～8割の時間を授業が占めており、授業が分かることも大きな要因であろう。授業のようすが今大きく変化しており、タブレットや電子黒板等を活用し、個別の課題に対応出来る授業へと転換が求められている。今後、より一層分かる授業に取り組んで欲しい。

また、不登校の児童生徒の増加も懸念される課題の一つである。再登校率が上がっているのは、心のケアハウスの運営等、これまでの取り組みの成果であると評価したい。また、学校の様々な設備の改善が進んでいることは誠に喜ばしい。エアコンの設置やトイレの改修など、児童生徒がより快適に学校生活を送れるような取り組みがなされていることに感謝したい。

### 3 生涯学習の推進について

文化センター、市立図書館に関しては順調に運営されていることがうかがえる。今後、さらなる発展に期待したい。

学びの機会や発揮の機会がほぼ横ばいであることは、コロナ禍にもかかわらず、なんとか活動をしたいという行政を始めとした市民の取り組みの成果であろう。

また、高齢の方の学習機会や文化芸術の振興等の値が下がっているが、コロナに感染すると高齢者、特に持病のある方の重症化リスクが高くなるとの知見があるため、高齢者が感染を避けるため外出やイベントへの参加を見送っていることが原因の一つであろう。コロナが落ち着いてくれば、以前より達成度は上がると思われる。今後も同様に取り組んでいただきたい。

#### **4 市民スポーツ社会の推進について**

スポーツ教室、大会の開催が低下し、社会体育施設の利用者数も減少している。これもここ数年のコロナの影響であろう。そのような状況の中でも、スポーツに親しむ市民の数は、大きな変化がない。これは健康志向が市民に浸透しており、自主的に健康作りのためのスポーツに親しんでいる市民が多いと言うことを表しているのだろう。

”アフターコロナの時代”にふさわしいスポーツ社会の創出を見据え、今後の事業展開に期待したい。

#### **5 文化財の保護と活用について**

2024年の多賀城創建1300年に向けて、南大門の復元工事及び周辺整備も順調に進んでいることは喜ばしい。また、近年、多賀城市で開発が進んでおり、その結果保存される史跡が増えている。多賀城市民が本市の歴史を理解し、尊重する意識を高める様な企画展が東北歴史博物館等と連携してできないだろうか。

また、せっかく元NHKのアナウンサーの松平さんが多賀城市の歴史等について紹介している動画が、YouTubeへアップされているのだから、市のホームページから誘導のバナーをつけるなどしてほしい。普及啓発への取り組みのさらなる工夫が求められる。

#### **6 総括的意見について**

このところのコロナ禍による事業の停滞が見受けられているが、その中でも児童生徒や市民の方の生活は停滞が許されない。そのことを踏まえて、市民の方の安心・安全を第一に考え、行政として精一杯取り組んでいくことがうかがえ、このことを高く評価したい。

また、ここ数年の多賀城市の学校教育の大きな課題として、不登校生徒



の増加がある。また、発達障害と思われる児童生徒も増加していると考えられる。幼少期における育てにくい子どもの保護者への支援を積極的に行うことで、子どもたちが安心して生活出来るようになる手助けをお願いしたい。ぜひ、子育て支援等担当部署と連携し、幼児期から中学生までの行政による支援や民間の力の活用を通して、保護者への啓発と支援を行うことで、将来の不登校や授業への取り組みの改善につながるのではないかと考える。ぜひ検討願いたい。



## IV 資 料



## 多賀城市教育基本方針

教育基本法の精神に基づき、

ひろい心、健やかな体、豊かな人間性と創造力を備えた児童生徒の育成を目指し、幅広い知識と教養を身に付け、真理と正義を求める心を持ち、自主・自律と公共の精神に満ちた人格の形成を図る。

あわせて、市民が「日々のよろこびふくらむまち 史都 多賀城」の実現に向け、夢と希望が輝く、誰もが成長できるまちづくりのために活動できる環境整備に努める。

### 令和3年度教育重点目標

#### 1 学校・家庭・地域の連携による教育力の向上

子どもの健全な育成のためには、学校、家庭、地域などの多様な主体がそれぞれの特性・能力を生かしながら、互いを尊重しつつ、対等な立場で協力しあい、ともにその環境づくりに取り組んでいく必要がある。

令和3年度は、学校支援活動や放課後子ども教室の運営をより一層連携推進するために地域学校協働本部を設立するとともに、家庭教育支援チーム等と連携しながら家庭教育事業に取り組むことで、地域全体の教育力の向上を目指す。

このため、次の施策を行う。

##### (1) 学校・家庭・地域の教育連携・協働の推進

- 地域学校協働本部を設立し、本市協働教育事業のより一層の連携・情報共有
- コミュニティ・スクール（学校運営協議会）構想の推進
- 学校支援活動の実施及び地域コーディネーター、学校支援ボランティアの育成、活動支援
- 地域教育力向上事業の実施（防災キャンプ等）
- 放課後子ども教室の実施及び運営スタッフの育成、活動支援
- 家庭教育支援チーム等と連携しながら家庭教育事業の実施
- 地域における教育相談・就学相談窓口の広報と活用

##### (2) 青少年の健全育成

- 街頭巡回指導の実施
- ジュニアリーダー、次世代リーダーの育成支援
- 青少年活動団体への補助
- 新成人を励ます成人式の実施

## 2 学校教育の充実

学校の教育力を高め、理解の進む授業が受けられることで、児童・生徒が「確かな学力」を身につけ、基本的な生活習慣や健康などに関する知識を習得することで「健やかな体」を養い、気軽に相談できる環境を整えることで「豊かな心」が育まれることにより、児童生徒が安全・安心な学校生活を送れることを目指す。

児童生徒一人ひとりが個別最適化され、創造性を育む教育ICT環境の実現を目指す「GIGAスクール構想」の実現に向け、これからの情報社会に主体的に取り組みことができる児童生徒の育成を目指す。

また、教員についても、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に向けた各教科等の指導におけるICTの活用を促進する。

東日本大震災以降、市内小中学校における不登校児童生徒の出現率は全国平均を上回っており、早期の対策が求められていることから、不登校の未然防止と早期対応が図られるよう、家庭、学校、地域及び関係機関との連携や教育相談体制の更なる充実を図る。

また、発達に遅れは見られないものの、特別な教育的支援を必要とする児童生徒が増加しており、適切な支援が受けられるよう早期からの情報提供や教育相談のさらなる強化を図るとともに、各種支援員等の人的配置を継続するほか、専門機関と密接に連携することで、個に応じた指導を充実する。

児童・生徒が安全で安心な学校生活を送ることができるよう令和2年度に策定した公共施設等管理運営個別計画に基づき、学校施設の老朽化対策を計画的に推進するとともに、学校生活や授業等に支障が生じることがないように定期的な点検を行い、早期発見、早期対応に努める。

また、学校施設の環境改善及び新型コロナウイルス感染症防止対策のため、学校トイレの全面改修を実施し、快適なトイレ環境の提供に努める。

このため、次の施策を行う。

### (1) 確かな学力の育成

ア 多賀城ふるさと学習の推進 ～多賀城を知り多賀城を語れる児童生徒の育成～

- ふるさととの自然、歴史的な文化財、伝統文化等の地域素材の積極的活用
- 副読本「私たちの多賀城」「命をまもり 未来をひらく」の活用と整備
- 友好都市との交流による学習の深化
- 立地企業や大学との連携による、体験型科学教育、キャリア教育の推進

イ 学びの質の向上

- 学びに向かう関係づくりを意図した支援
  - ・ 聴き合う関係づくりを生かした聴く力の育成
  - ・ 自然体験、文化芸術体験等、体験学習の工夫と充実
  - ・ 対人関係ゲームやMAPの活用
- 主体的・対話的で深い学びの追求
  - ・ 二学期制を生かした、主体的な学びを推進するカリキュラムマネジメント
  - ・ 探究的な学習を可能にする価値ある課題設定
  - ・ 教職員の主体的・共同的な学習を進める支援技術の向上を図る研修の推進
  - ・ 教職員の主体的な研修を支える同僚性の向上
- 家庭との連携を図った学習意欲の醸成と学習習慣の確立

#### ウ 未来を開く教育の推進

- GIGAスクール構想の推進
  - ・プログラミング教育の推進と教育用クラウドサービスの活用推進
  - ・児童生徒の発達段階に応じたタブレット等の基本的な操作スキルの定着
  - ・現状を踏まえた情報モラル教育の推進
- 震災を教訓とした防災教育の推進
  - ・地域と共有し、共に創る学校危機管理体制
  - ・東北大学災害科学国際研究所、多賀城高等学校災害科学科との連携、副読本の活用
- 英語教育の充実と教職員の実践型研修の推進

#### (2) 豊かな心の育成

- 一人も取り残さない支援教育による支えあう学校づくり
  - ・スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー等との連携協働
  - ・科学的知見による児童・生徒理解の推進
  - ・校内支援チームの設定とケース会議の位置づけ
  - ・支えあう学級づくりを進める学級システム整備と集団づくり
  - ・切れ目のない教育相談を可能とするシステムづくり
- 「たがじょう子どもの心のケアハウス」による学校サポート体制の充実
- 就学支援専門委員を加えた支援教育体制整備
- 児童理解・発達や学級システムに関する研修の充実と専門機関との連携
- 保幼小連携や小中連携、福祉部局と教育委員会の情報共有と協働・連携の強化
- 規範意識・自己肯定感や自尊心を高める道徳教育の推進
- 「語りかけて励まし、認めて育てる」、心のかよいあう生徒指導の推進

#### (3) 健やかな体の育成

- 児童生徒等の健康診断の実施、学校保健会活動の支援
- 地域における児童生徒のよりよい環境づくり
- 新型コロナウイルス感染症に対する感染予防習慣の徹底
- 新型コロナウイルス感染下において自分にあった形の適切な運動習慣の確立
- 健康と安全に関する自己管理能力の育成と基本的生活習慣の形成
- 給食センターと学校が連携した食育の推進

#### (4) 教育環境の保全と運営

- 各種支援員等の適切な配置
- 教材等の教育環境の整備
- 教員が子どもと向き合う時間の確保（働き方改革の推進）
- 安全で安心して学ぶことのできる学校施設の計画的な整備
- 一人一台パソコン端末の配置、無線LAN環境の整備
- 各学校の特色を生かし、感染症防止に配慮した機能的な施設利用の工夫
- 継続的、探究的な危機管理マニュアルの点検整備
- 体験的・問題解決型の防災学習の工夫
- 学校給食に係るハード、ソフト両面の安全確保
- 通学区域再編に関する調査・研究（庁内関係課間）

### 3 生涯学習の推進

社会環境が大きく変化する中であって、賢く、楽しく、生きがいを持って暮らすためには、生涯を通じた学びにより、「生活の質」を高めていくことが大切である。そのため、生涯学習の拠点となる公民館や図書館などの社会教育施設においては、市民が学び、また、それを通じて交流する場としてふさわしい管理を行っていく。

また、多様な学びのニーズに対応した学習メニューを用意するとともに、利用者が自らの課題を解決する学びを支援することにより、生涯学習社会の形成を推進する。

指定管理者制度を導入している生涯学習施設においては、民間企業や地域の市民団体の強みを生かし、「学び」の深化を目指す。

このため、次の施策を行う。

#### (1) 学びと発揮の機会の確保

- 公民館等における社会教育講座の開催
- 図書館における読書と学習の場の提供、各種イベントの開催
- 視聴覚ライブラリーの運営
- 子どもの読書を促進する学校図書館の支援
- 学習の成果発表の機会となる文化センターまつり、山王地区公民館まつり、大代地区公民館まつりの開催
- 生涯学習活動を支援するための生涯学習活動費への補助
- 生涯学習団体等への補助

#### (2) 文化芸術の振興

- 文化センター等における芸術鑑賞機会の提供
- 市民音楽祭等の音楽イベントの実施
- 文化芸術振興団体等への補助

#### (3) 生涯学習施設の運営

- 施設・設備の適正な維持管理
- 利用者サービスの充実
- 大代地区公民館体育室照明のLED化

### 4 スポーツの振興

市民の健全な心身と健康の保持・増進を図るため、スポーツ活動を促進し、多種目・多世代・多目的で作る市民スポーツ社会を実現する。そのため、統合型地域スポーツクラブとの連携・協力により、多様なスポーツ事業を実施し、人と人との交流や地域間の交流を通し、活気あふれる元気なまちづくりを推進する。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に当たり、本市が聖火リレーのコースとして決定したことから、関係機関と協力しながら事業を実施し、市民のオリンピックに対する関心を高め、気運醸成を図る。

また、キューバ共和国のホストタウンとして、野球代表チームと市民による交流事業を実施し、スポーツ振興はもとよりグローバル化の推進、地域の活性化に生かす。

このため、次の施策を行う。

#### (1) スポーツ機会の充実

- 社会体育施設等におけるスポーツ教室等の開催



- 学校施設を開放してスポーツ振興を図る学校開放の実施
- 全日本実業団対抗女子駅伝競走大会の運営支援
- 東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業の実施

(2) 社会体育施設等の保全と運営

- 施設・整備の適正な維持管理
- 利用者サービスの充実

5 文化財の保存と活用

文化財を適正に保存・活用することは、市民の歴史・文化に対する意識の向上に繋がり、ひいては本市の個性豊かな魅力あるまちづくりに大きく寄与するものである。

本市ならではの歴史・文化を活かしたまちづくりを推進するため、郷土の貴重な遺産である文化財を保護・継承し、関係部署等との連携のもと、その活用を図る。

このため、次の施策を行う。

(1) 文化財の調査・保存の推進

- 埋蔵文化財の発掘調査の実施
- 市内歴史遺産調査の実施及び報告書の作成
- 特別史跡多賀城跡附寺跡第3次保存管理計画に基づく公有化の促進
- 地域との連携による史跡地内の景観保全

(2) 文化財の積極的な活用促進

- 特別史跡多賀城跡復元整備事業（南門等復元及び周辺整備）の推進
- 歴史的風致維持向上計画に係る歌枕の環境整備・活用

(3) 文化財の普及啓発の推進

- 子どもたちの歴史的な体験学習機会や市民が文化財に触れる機会の充実
- 市の歴史・文化の魅力を広く伝える展示会、講座や出前学習等の充実
- 郷土芸能の振興と活動支援

多賀城市教育委員会  
点検・評価報告書（令和３年度事業）  
令和４年１２月

多賀城市教育委員会事務局教育総務課

〒985-0831 宮城県多賀城市中央二丁目1番1号

TEL 022-368-1141 FAX 022-309-2460

市ホームページURL

<http://www.city.tagajo.miyagi.jp/index.html>

本報告書掲載URL

<http://www.city.tagajo.miyagi.jp/kyoiku/kosodate/tenkenoyobihyouka/tenkenoyobihyouka.html>